

Ⅲ 樹木の状況

1. 樹木の状況

1-1. 樹木本数の概況

本調査では胸高直径が 50cm 以上の樹木を対象として測定を実施した。樹木本数の概況を表Ⅲ-1 に示す。

本区の樹木の総数は 7,245 本で、1 ha あたりの樹木本数は 6.4 本、1,000 人あたりの樹木本数は約 31 本となっている。

1 ha あたりの樹木本数、1,000 人あたりの樹木本数の状況について、本区と他区の比較を図Ⅲ-1、図Ⅲ-2 に示す。

本区の単位面積あたりの樹木本数は 6 本/ha を超え、データのある他区と比較しても高い水準にある。本区の隣接区の台東区・新宿区と比較しても上回っている。

また、1,000 人あたりの樹木本数でも、他区と比較すると、港区 33.1 本（H23）に次ぐ 31.2 本という結果であった。

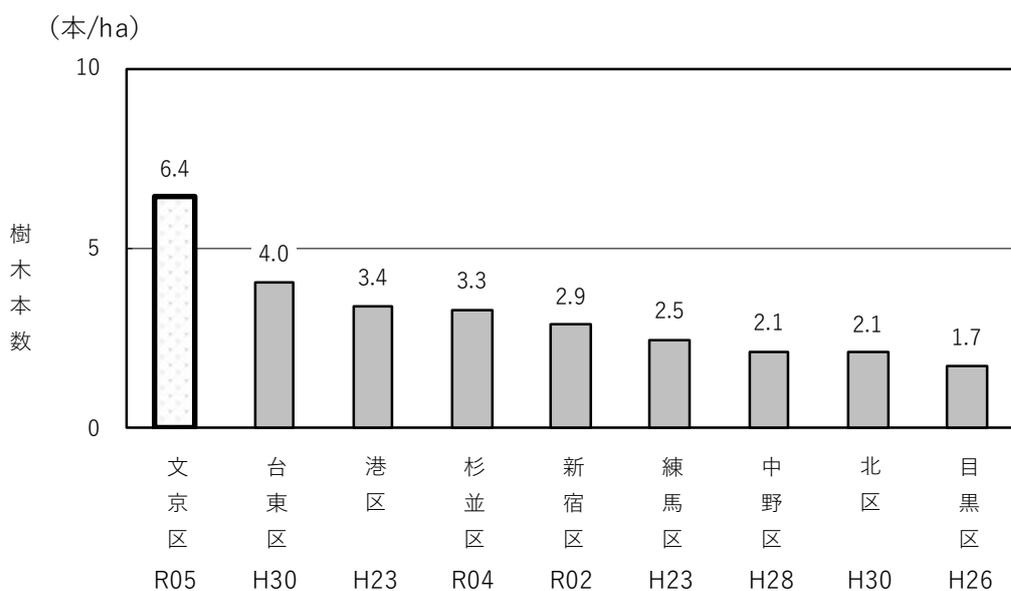
このように樹木本数が多い理由として、小石川後樂園、六義園などの大規模庭園、東京大学やお茶の水女子大学など、樹木の多い大規模施設が存在していることが考えられる。

表Ⅲ-1 文京区の樹木概況

	面積 (ha)	人口* (人)	樹木本数 (本)	樹木本数 (本/ha)	樹木本数 (本/1,000人)
文京区全体	1,129	232,177	7,245	6.4	31.2

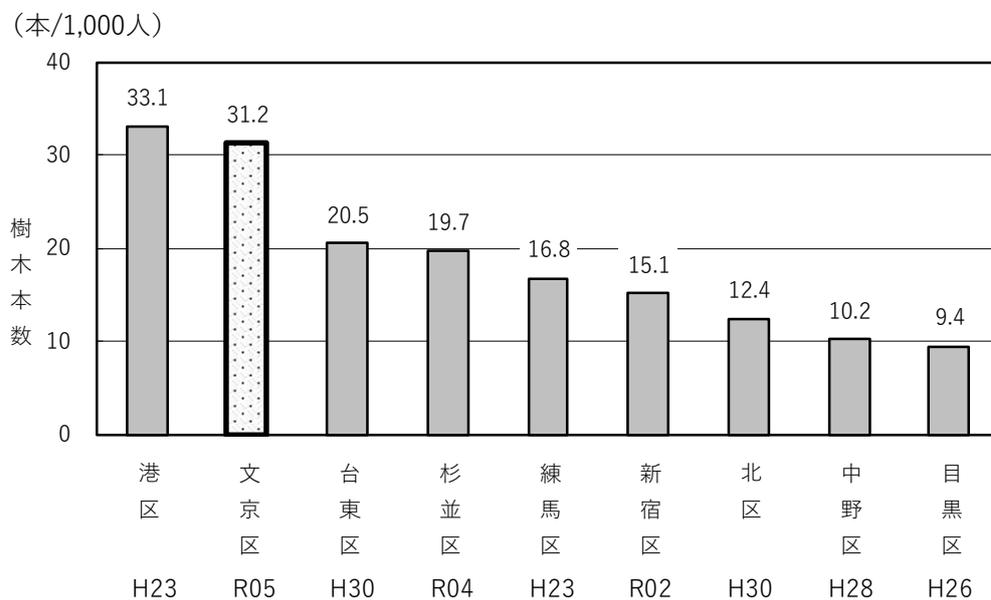
注：胸高直径 50cm 以上の樹木を対象。

*：人口は、令和 6 年 1 月 1 日現在の外国人を含む住民基本台帳の数値。



注 1：直径 50cm 以上の樹木を調査対象としている。（台東区と中野区は幹周 150cm 以上対象）
 2：区名の下に数字はそれぞれの区の調査年度（平成・令和）。
 3：近 15 年の調査区および対象可能な集計を実施している区。

図Ⅲ－1 各区 1 ha あたりの樹木本数



注 1：直径 50cm 以上の樹木を調査対象としている。（台東区と中野区は幹周 150cm 以上対象）
 2：区名の下に数字はそれぞれの区の調査年度（平成・令和）。
 3：近 15 年の調査区および対象可能な集計を実施している区。

図Ⅲ－2 各区 1,000 人あたりの樹木本数

1-2. 樹木の分布状況

(1) 区域別樹木本数

区域別の樹木の分布状況を表Ⅲ-2に示す。図Ⅲ-3に区域別の樹木本数、図Ⅲ-4に区域別の樹木密度、図Ⅲ-5に人口1,000人あたりの樹木本数をそれぞれ示す。

表Ⅲ-2 区域別樹木本数

区域番号	区域名称	面積 (ha)	人口 (人)	樹木本数 (本)	樹木密度 (本/ha)	1,000人当たり 樹木本数 (本/1,000人)
1	後楽	36.3	2,106	62	1.7	29.4
2	春日	33.6	5,789	184	5.5	31.8
3	小石川南	44.5	15,148	84	1.9	5.5
4	小石川北	41.2	10,083	175	4.2	17.4
5	白山南	34.1	9,519	99	2.9	10.4
6	白山北	48.1	9,370	102	2.1	10.9
7	千石	68.8	19,597	106	1.5	5.4
8	水道	19.3	6,730	7	0.4	1.0
9	小日向	50.2	8,496	91	1.8	10.7
10	大塚南	55.1	8,034	695	12.6	86.5
11	大塚北	50.7	11,869	238	4.7	20.1
12	関口	43.9	7,843	521	11.9	66.4
13	目白台	48.5	7,565	516	10.6	68.2
14	音羽	19.3	6,055	34	1.8	5.6
15	本郷南	55.6	11,717	59	1.1	5.0
16	本郷北	37.9	10,216	43	1.1	4.2
17	湯島	55.3	11,133	228	4.1	20.5
18	西片	27.9	5,687	58	2.1	10.2
19	向丘	35.4	7,055	184	5.2	26.1
20	弥生	27.2	2,032	346	12.7	170.3
21	根津	20.5	6,556	102	5.0	15.6
22	千駄木	72.7	21,317	174	2.4	8.2
23	本駒込東	53.5	13,658	267	5.0	19.5
24	本駒込西	66.9	14,195	234	3.5	16.5
	一般区域小計	1,046.5	231,770	4,609	4.4	19.9
25	東大本郷	42.8	407	742	17.3	1,823.1
26	六義園	8.8	—	430	48.9	—
27	後楽園	7.1	—	372	52.4	—
28	植物園	16.1	—	701	43.5	—
29	豊島岡墓地	8.0	—	391	48.9	—
	特別区域小計	82.8	407	2,636	31.8	—
	区全体	1,129.3	232,177	7,245	—	—
	区平均	—	—	250	6.4	31.2

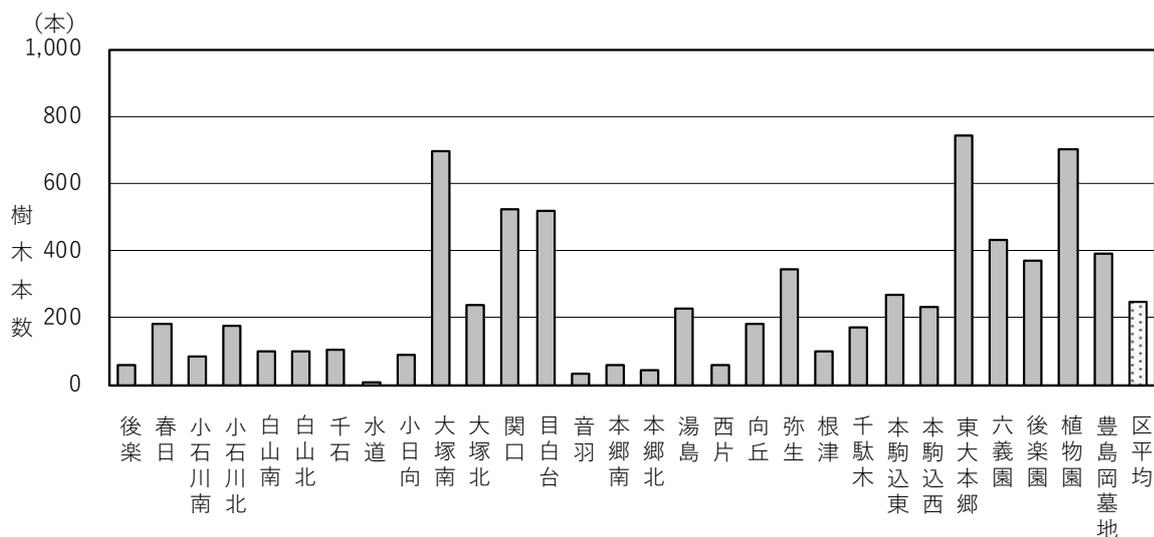
注：人口は、令和6年1月1日現在。(外国人を含む)

区域別樹木本数の平均は 250 本であった。特別区域では、いずれの区域も平均以上の樹木本数を有し、区の総樹木本数に対して、1/3 以上の樹木が特別区域に存在する。

一般区域では、大塚南、関口、目白台、弥生、本駒込東において平均以上の樹木が確認された。これらの地域には大学や大規模公園などの施設が所在し、住居系の土地利用の区域となっている。

一方、水道、音羽においては、樹木本数が特に少ない。これらの区域の土地利用は商業系である。

- 樹木の多い区域 : 特別区域、大塚南、目白台、関口、弥生、本駒込東
- 樹木の特に少ない区域 : 水道、音羽



図Ⅲ－３ 区域別樹木本数

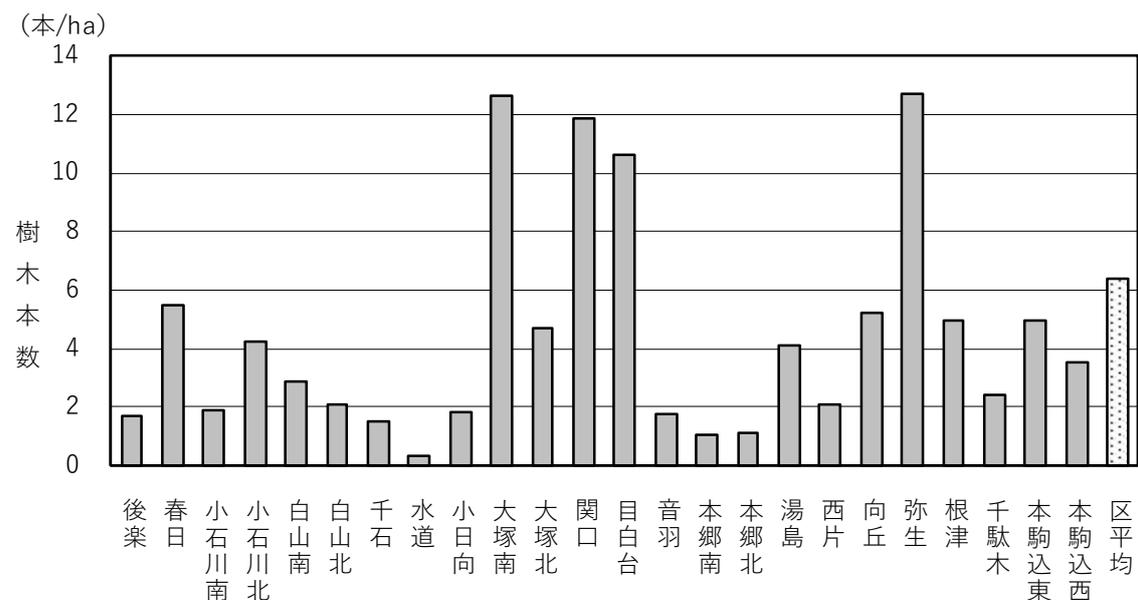
樹木密度（本/ha）は特別区域で特に高くなっている。一般区域の樹木密度では、弥生（12.7本）、大塚南（12.6本）、関口（11.9本）、目白台（10.6本）の順に高くなっている。

大塚北、本駒込東、本駒込西、湯島などは、樹木本数は200本を超えて比較的多いものの特別に樹木密度が高い区域とはならなかった。

樹木密度が特に低い区域として、水道（0.4本）があげられる。樹木密度が1haあたり1本以下であった区域はここだけであった。

樹木密度の高い区域は、規模の大きな緑地が区域内にある所で、なおかつ住居系の地域であり、一方密度の低い地域は、規模の大きな緑地がなく、商業系の地域であるといえる。

- | | |
|------------|-----------------|
| ○樹木密度の高い区域 | : 弥生、大塚南、関口、目白台 |
| ○樹木密度が低い区域 | : 水道、本郷南、本郷北 |

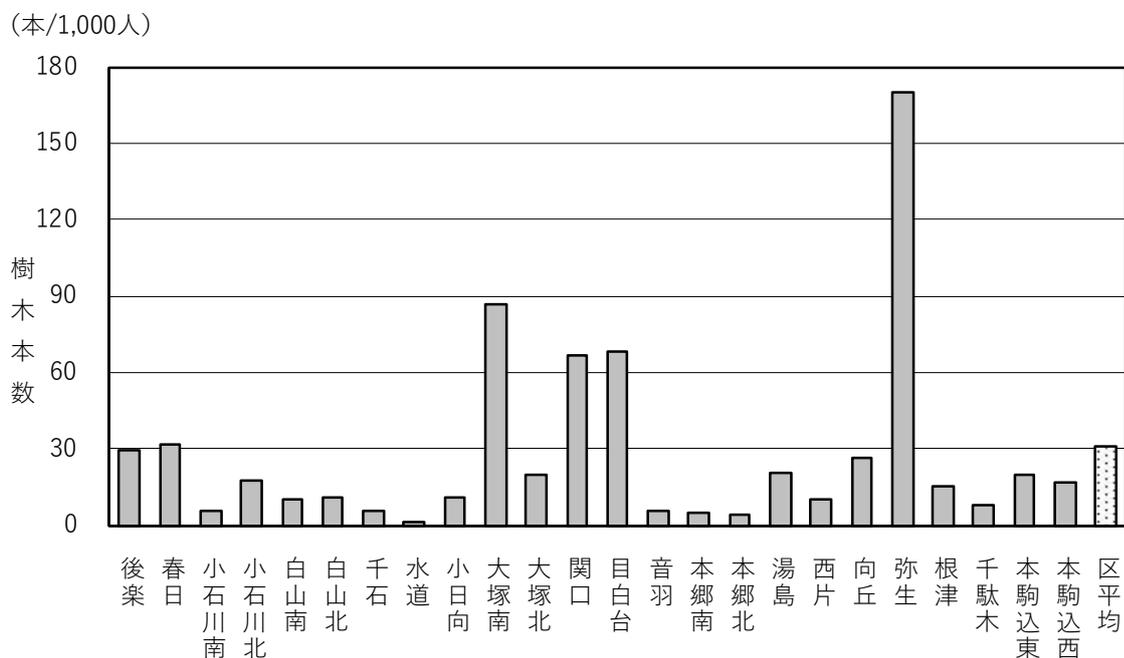


注：特別区域は除く。

図Ⅲ－４ 区域別樹木密度

人口 1,000 人あたりの樹木本数が特に多い区域は、弥生 170 本、大塚南 87 本、目白台 68 本、関口 66 本である。一方、人口あたりの樹木本数がもっとも少ない区域は水道（1 本）であり、本郷北、本郷南が続いている。この特徴は、面積あたりの樹木本数とほぼ同様の結果となっている。

- 人口あたりの樹木本数の多い区域 : 弥生、大塚南、目白台、関口
- 人口あたりの樹木本数の少ない区域 : 水道、本郷北、本郷南



注：人口は、令和 6 年 1 月 1 日現在（外国人を含む）。特別区域は除く。

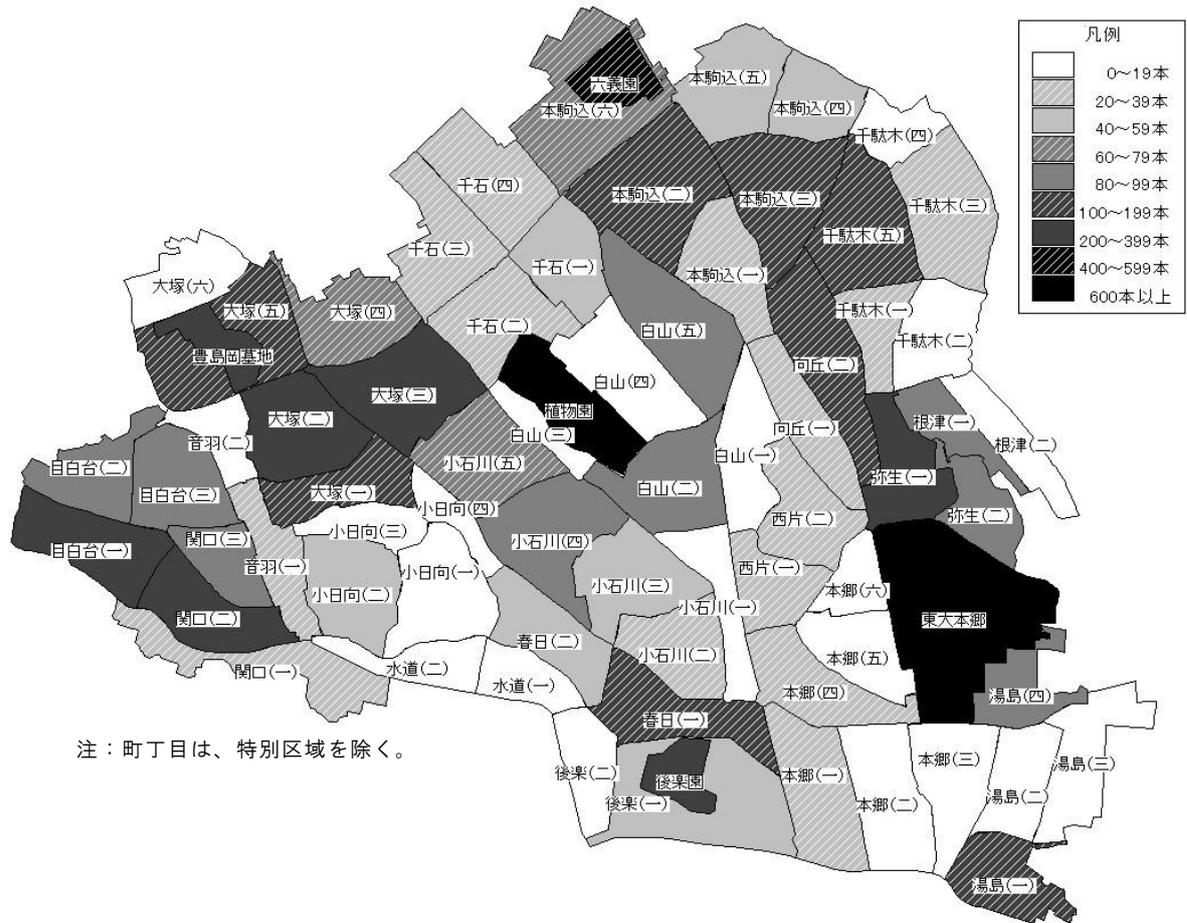
図Ⅲ－５ 区域別人口 1,000 人あたりの樹木本数

(2) 町丁目別樹木本数

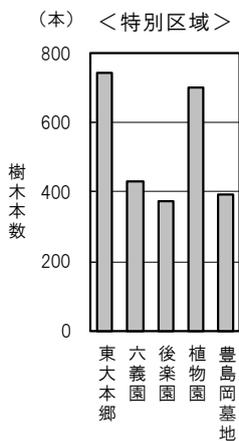
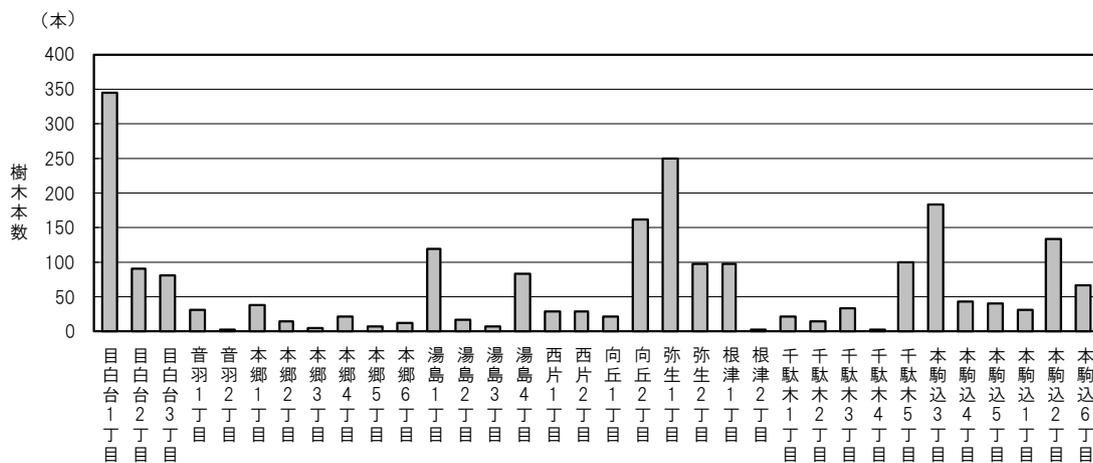
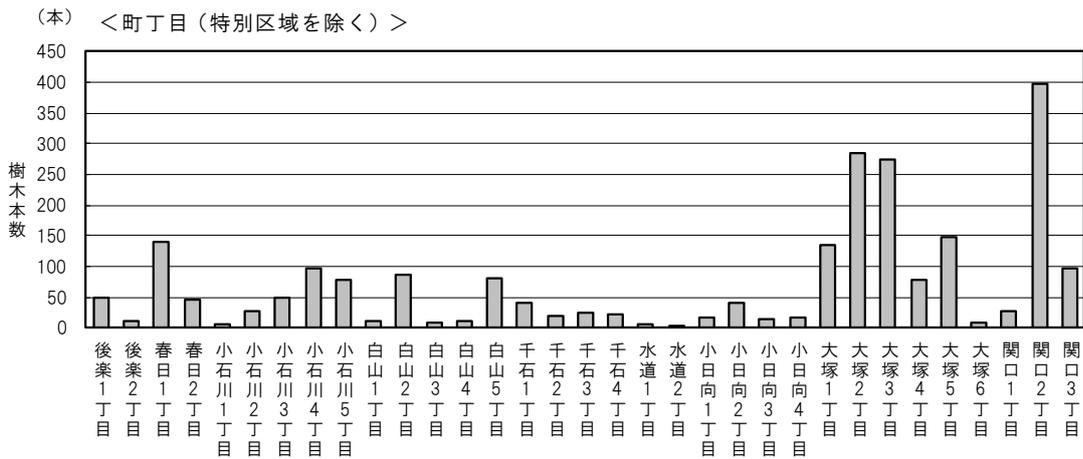
町丁目別の樹木本数の状況を図Ⅲ－6、図Ⅲ－7に示す。

特別区域は樹木分布が多く、特に東大本郷、小石川植物園では際立って多くなっている。

特別区域以外では、区の西部の目白台から関口の一帯、大塚の一帯、東部の本駒込から東大本郷までの一帯において、比較的多くの樹木を有する町丁目が分布している。また、区の南部において樹木の少ない町丁目が目立つ。



図Ⅲ－6



注：胸高直径 50 cm以上の樹木本数。

図Ⅲ－7 町丁目別の樹木本数

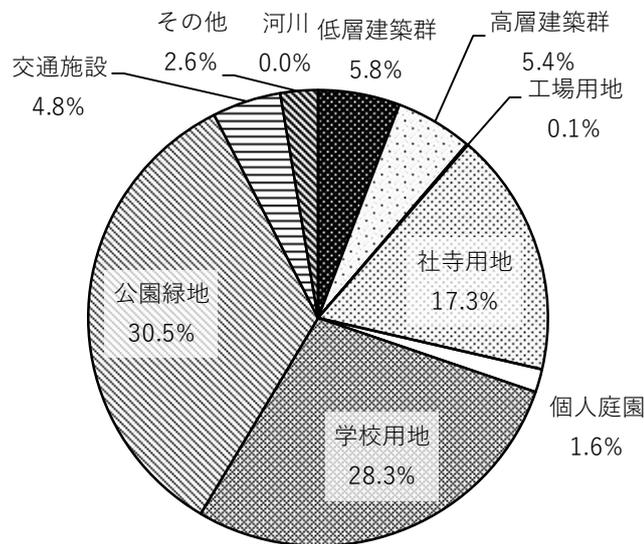
(3) 都市構造区分別樹木本数

都市構造区分別樹木本数を表Ⅲ－3、区域別の都市構造区分別樹木本数を表Ⅲ－4に、都市構造区分別の樹木本数比率を図Ⅲ－8にそれぞれ示す。

区分別では公園緑地、学校用地、社寺用地に樹木が多く、合わせて6,000本近い樹木がこれらの用地に存在しており、本区全体の約8割を占めている。

表Ⅲ－3 都市構造区分別樹木本数

都市構造区分	樹木本数(本)	密度(本/ha)
低層建築群	417	1.4
高層建築群	394	1.0
工場用地	7	0.4
社寺用地	1,256	21.6
個人庭園	118	34.7
学校用地	2,050	13.7
公園緑地	2,461	43.1
交通施設	350	2.9
河川	1	0.1
その他	191	7.2
区全体	7,245	6.4



図Ⅲ－8 都市構造区分別樹木本数比率

区域別では、大規模施設や公園緑地、社寺用地などの有無によって偏りがあり、学校用地、公園緑地、社寺用地などが多く存在する区域で樹木が多くなっている。

表Ⅲ－４ 区域別都市構造区分別の樹木本数

(単位：本)

区域 番号	区域	都市構造区分										合計
		低層 建築群	高層 建築群	工場 用地	社寺 用地	個人 庭園	学校 用地	公園 緑地	交通 施設	河川	その他	
1	後楽	6	25	0	0	0	1	5	11	0	14	62
2	春日	20	6	0	3	19	77	30	27	0	2	184
3	小石川南	8	4	1	52	7	6	3	3	0	0	84
4	小石川北	2	25	0	32	23	22	35	36	0	0	175
5	白山南	5	2	0	11	0	32	6	9	0	34	99
6	白山北	1	8	0	37	0	9	10	37	0	0	102
7	千石	18	33	0	8	0	16	28	3	0	0	106
8	水道	1	2	0	0	0	0	0	4	0	0	7
9	小日向	9	7	0	42	0	26	6	1	0	0	91
10	大塚南	2	14	0	10	15	421	231	2	0	0	695
11	大塚北	6	10	0	131	0	18	72	1	0	0	238
12	関口	136	32	6	32	9	5	130	54	1	116	521
13	目白台	78	22	0	1	0	177	189	49	0	0	516
14	音羽	0	0	0	2	30	0	0	2	0	0	34
15	本郷南	12	9	0	2	0	16	12	8	0	0	59
16	本郷北	7	18	0	5	0	3	10	0	0	0	43
17	湯島	19	44	0	75	0	32	23	35	0	0	228
18	西片	33	9	0	0	0	7	8	1	0	0	58
19	向丘	3	2	0	134	0	15	6	24	0	0	184
20	弥生	2	2	0	0	0	338	0	4	0	0	346
21	根津	4	3	0	89	0	6	0	0	0	0	102
22	千駄木	25	11	0	30	8	49	44	6	0	1	174
23	本駒込東	1	2	0	137	7	15	60	21	0	24	267
24	本駒込西	19	103	0	32	0	28	50	2	0	0	234
一般区域小計		417	393	7	865	118	1,319	958	340	1	191	4,609
25	東大本郷	0	1	0	0	0	731	0	10	0	0	742
26	六義園	0	0	0	0	0	0	430	0	0	0	430
27	後楽園	0	0	0	0	0	0	372	0	0	0	372
28	植物園	0	0	0	0	0	0	701	0	0	0	701
29	豊島岡墓地	0	0	0	391	0	0	0	0	0	0	391
特別区域小計		0	1	0	391	0	731	1,503	10	0	0	2,636
区全体		417	394	7	1,256	118	2,050	2,461	350	1	191	7,245

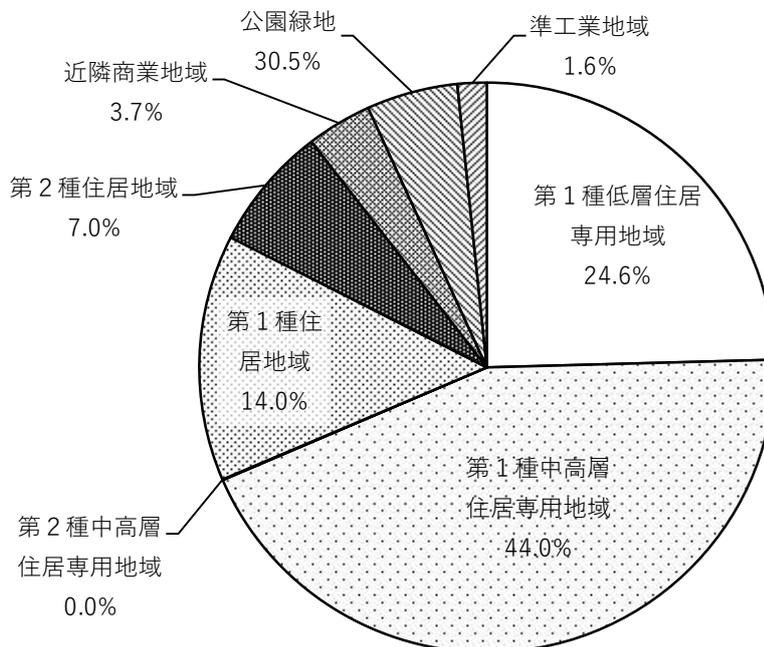
(4) 用途地域別樹木本数

用途地域別樹木本数を表Ⅲ－5、区域別の用途区域別樹木本数を表Ⅲ－6に、構成比率を図Ⅲ－9にそれぞれ示す。

区分別では、第1種中高層住居専用地域、第1種低層住居専用地域、第1種住居地域に樹木が多くみられ、これらの地域に80%以上の樹木が存在している。

表Ⅲ－5 用途地域別樹木本数

用途地域区分	樹木本数 (本)	密度 (本/ha)
第1種低層住居専用地域	1,780	14.6
第1種中高層住居専用地域	3,185	9.5
第2種中高層住居専用地域	2	0.3
第1種住居地域	1,012	5.6
第2種住居地域	510	10.4
近隣商業地域	265	2.1
商業地域	372	1.5
準工業地域	119	1.6
合計	7,245	6.4



図Ⅲ－9 用途地域別樹木本数構成比率

区域別では、樹木密度の高い第1種低層住居専用地域、第1種中高層住居専用地域、第1種住居地域を多く有する区域で樹木本数が多い傾向にある。敷地の半数以上を第1種中高層住居専用地域が占めている弥生、大塚南では、地域内の樹木の90%以上が第1種中高層住居専用地域に存在している。各区域における用途地域区分の構成状況が、樹木分布の特徴として反映されている。

表Ⅲ－6 区域別用途地域別の樹木本数

区域 番号	区域	用途地域区分								合計
		第1種低層 住居専用地域	第1種中高層 住居専用地域	第2種中高層 住居専用地域	第1種住居 地域	第2種住居 地域	近隣商業 地域	商業地域	準工業 地域	
1	後楽	0	0	0	7	1	1	46	7	62
2	春日	0	22	0	118	5	24	15	0	184
3	小石川南	0	63	0	1	0	0	1	19	84
4	小石川北	0	47	0	44	39	0	7	38	175
5	白山南	0	0	0	82	0	0	11	6	99
6	白山北	9	3	0	44	0	33	3	10	102
7	千石	9	62	0	23	1	4	4	3	106
8	水道	0	0	0	0	2	2	0	3	7
9	小日向	44	15	0	28	4	0	0	0	91
10	大塚南	0	643	0	19	0	13	16	4	695
11	大塚北	0	196	0	25	0	0	11	6	238
12	関口	180	0	0	0	308	5	5	23	521
13	目白台	268	117	0	1	7	85	38	0	516
14	音羽	30	0	0	0	0	0	4	0	34
15	本郷南	0	0	0	12	0	32	15	0	59
16	本郷北	0	0	0	38	1	2	2	0	43
17	湯島	0	33	0	75	44	17	59	0	228
18	西片	44	0	0	10	1	1	2	0	58
19	向丘	0	93	0	28	0	15	48	0	184
20	弥生	0	328	2	14	0	0	2	0	346
21	根津	0	85	0	6	2	9	0	0	102
22	千駄木	0	155	0	0	0	19	0	0	174
23	本駒込東	0	193	0	42	0	3	29	0	267
24	本駒込西	66	20	0	23	95	0	30	0	234
一般区域小計		650	2,075	2	640	510	265	348	119	4,609
25	東大本郷	0	741	0	0	0	0	1	0	742
26	六義園	429	0	0	0	0	0	1	0	430
27	後楽園	0	0	0	372	0	0	0	0	372
28	植物園	701	0	0	0	0	0	0	0	701
29	豊島岡墓地	0	369	0	0	0	0	22	0	391
特別区域小計		1,130	1,110	0	372	0	0	24	0	2,636
区全体		1,780	3,185	2	1,012	510	265	372	119	7,245

(5) 区域別公有地・民有地別樹木本数

区域別公有地・民有地別樹木数を表Ⅲ－7に示す。

本区においては、公有地の樹木本数が5,140本、民有地の樹木が2,105本で、公有地の樹木本数が全体の約70%を占めている。

しかし、特別区域を除いた一般区域で比較すると、公有地には2,505本、民有地は2,104本で、同程度の割合となる。

公有地の樹木本数が民有地より多い区域は、大塚南、弥生、小石川北、湯島、千駄木、春日、目白台、水道であり、そのほかの区域では、民有地の樹木本数の方が多くなっている。中でも、音羽、根津は、公有地の樹木の占める割合は10%にも満たない。

表Ⅲ－7 区域別公有地・民有地別樹木本数

区域番号	区域	公有地	民有地	合計
1	後楽	16	46	62
2	春日	113	71	184
3	小石川南	12	72	84
4	小石川北	93	82	175
5	白山南	26	73	99
6	白山北	50	52	102
7	千石	45	61	106
8	水道	4	3	7
9	小日向	25	66	91
10	大塚南	635	60	695
11	大塚北	110	128	238
12	関口	188	333	521
13	目白台	278	238	516
14	音羽	2	32	34
15	本郷南	28	31	59
16	本郷北	14	29	43
17	湯島	164	64	228
18	西片	17	41	58
19	向丘	45	139	184
20	弥生	342	4	346
21	根津	6	96	102
22	千駄木	103	71	174
23	本駒込東	121	146	267
24	本駒込西	68	166	234
一般区域小計		2,505	2,104	4,609
25	東大本郷	741	1	742
26	六義園	430	0	430
27	後楽園	372	0	372
28	植物園	701	0	701
29	豊島岡墓地	391	0	391
特別区域小計		2,635	1	2,636
区全体		5,140	2,105	7,245

(6) 樹木本数の多い施設

樹木本数の多い施設として、胸高直径が 50cm 以上の樹木を 15 本以上有している施設について区分別に集計して表Ⅲ－8 に示す。

樹木の多い施設に存在する樹木は 5,610 本であり、区全体の樹木本数の 8 割近くを占めている。これは東京大学の関連施設（本郷キャンパス、小石川植物園）、六義園、小石川後樂園など特別区域にある施設の樹木が反映されているためである。

前回（平成 30 年）調査と比較すると、合計値は 15 本減で、ほぼ横ばいと言える。これは、施設管理上、倒木などのリスクを避けるために伐採される樹木がある一方で、前回調査で 50cm に満たなかった樹木の成長により、減少分を補うサイクルが維持されていると考えられ、今後も樹木本数が維持されていく可能性を示している。

表Ⅲ－8 樹木本数の多い施設

区分	施設数 (箇所)	樹木本数 (本)	増減
学校	18	1,775	-14
公園	19	2,271	-121
社寺	17	625	33
公共施設	4	465	25
民有施設	11	474	62
合計	69	5,610	-15

注 1：直径 50cm 以上の樹木を 15 本以上有している施設。

2：増減は前回調査（平成 30 年）との比較。

1-3. 樹木の大きさの状況

(1) 太さ別樹木本数

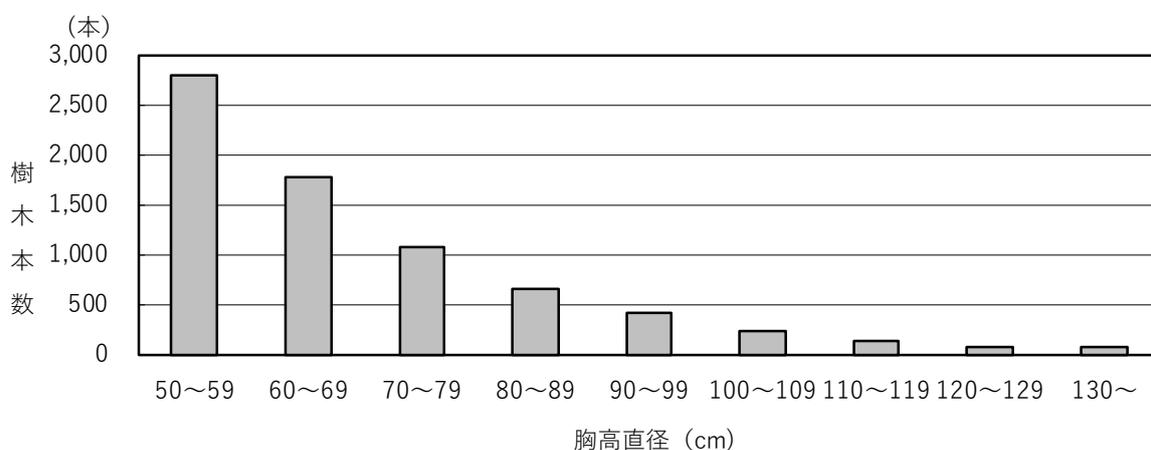
太さ別の樹木本数を表Ⅲ-9、図Ⅲ-10に、その構成比率を図Ⅲ-11に示す。

本区における樹木の大きさは、胸高直径 50~59cm の樹木が 2,799 本ともっとも多く、全体の約 40%を占めており、太く巨木になるほど本数が減少する傾向にある。今後成長を見込める樹木が多く、将来的な樹木本数の維持の可能性を示している。

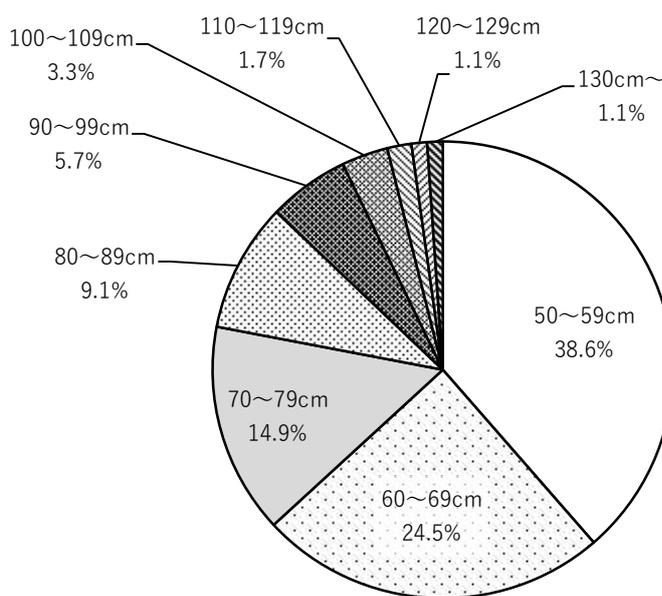
表Ⅲ-9 太さ別樹木本数

胸高直径 (cm)	50~59	60~69	70~79	80~89	90~99	100~109	110~119	120~129	130~	合計
本数	2,799	1,775	1,080	660	413	237	123	79	79	7,245

(単位：本)



図Ⅲ-10 太さ別樹木本数



図Ⅲ-11 太さ別樹木本数構成比率

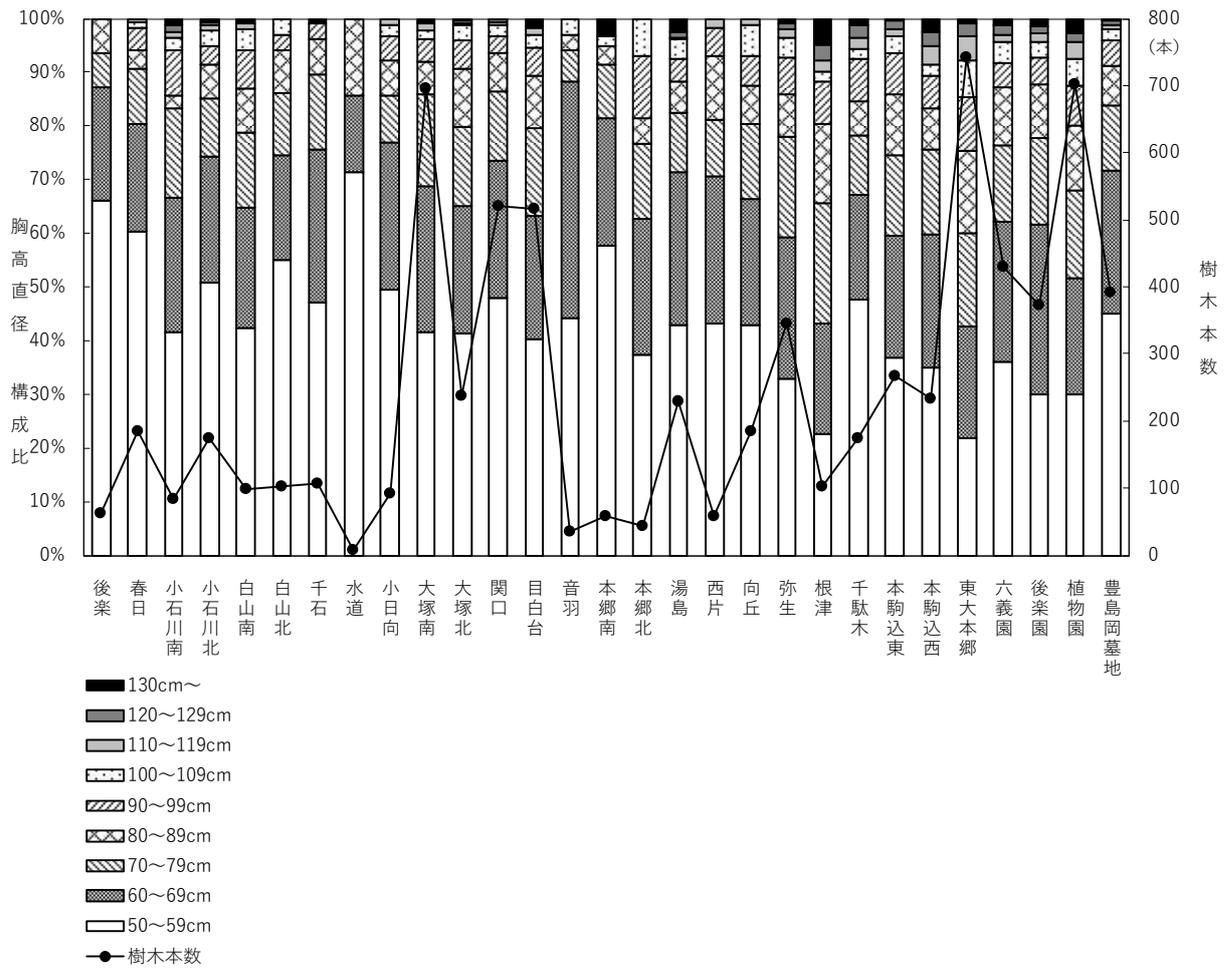
区域別の太さ別樹木本数とその構成比について表Ⅲ－１０、図Ⅲ－１２に示す。

一般区域には大径木が比較的少ない傾向がみられるが、大塚南、大塚北、関口、目白台、湯島、向丘、弥生、根津、千駄木、本駒込東、本駒込西の 11 区域においては、直径 100cm 以上の樹木がそれぞれ 10 本以上みられる。

一方、特別区域には直径 100cm 以上の大径木の樹木が 276 本存在しており、区全体における大径木の約半数を占めている。特に東大本郷には大径木が 109 本存在し、これらの樹木だけで区全体の大径木の約 2 割を占めていることになる。このことから、特別区域は樹木本数だけではなく、大径木の現存地としての価値も有している。

表Ⅲ－１０ 区域別太さ別樹木本数

区域 番号	区域	胸高直径 (cm)									合計	平均 直径 (cm)
		50~59	60~69	70~79	80~89	90~99	100~109	110~119	120~129	130~		
		(本)										
1	後楽	41	13	4	4	0	0	0	0	0	62	59.0
2	春日	111	37	19	6	8	2	1	0	0	184	61.3
3	小石川南	35	21	14	2	7	2	1	1	1	84	68.1
4	小石川北	89	41	19	11	6	5	2	1	1	175	64.6
5	白山南	42	22	14	8	7	4	1	0	1	99	67.4
6	白山北	56	20	12	8	3	3	0	0	0	102	63.1
7	千石	50	30	15	7	3	0	0	0	1	106	63.9
8	水道	5	1	0	1	0	0	0	0	0	7	59.3
9	小日向	45	25	8	6	4	2	1	0	0	91	63.5
10	大塚南	289	188	119	43	29	12	8	3	4	695	66.2
11	大塚北	98	57	35	26	12	7	1	1	1	238	67.4
12	関口	249	134	67	38	16	11	2	3	1	521	64.5
13	目白台	208	118	84	51	27	12	7	2	7	516	68.2
14	音羽	15	15	2	1	0	1	0	0	0	34	60.7
15	本郷南	34	14	6	2	0	1	0	0	2	59	64.9
16	本郷北	16	11	6	2	5	3	0	0	0	43	68.6
17	湯島	98	65	25	13	10	8	1	2	6	228	67.3
18	西片	25	16	6	7	3	0	1	0	0	58	65.5
19	向丘	79	43	26	13	10	11	2	0	0	184	67.1
20	弥生	114	91	65	27	24	13	5	4	3	346	70.1
21	根津	23	21	23	15	8	2	2	3	5	102	77.2
22	千駄木	83	34	19	11	14	3	4	4	2	174	67.9
23	本駒込東	98	61	40	30	21	8	4	4	1	267	69.6
24	本駒込西	82	58	37	18	14	5	8	6	6	234	72.0
	一般区域小計	1,985	1,136	665	350	231	115	51	34	42	4,609	67.0
25	東大本郷	162	154	130	113	74	51	34	18	6	742	76.9
26	六義園	155	112	61	47	19	17	6	8	5	430	70.2
27	後楽園	111	118	60	37	19	11	6	5	5	372	70.1
28	植物園	210	151	116	85	51	35	23	11	19	701	74.4
29	豊島岡墓地	176	104	48	28	19	8	3	3	2	391	65.7
	特別区域小計	814	639	415	310	182	122	72	45	37	2,636	72.5
	区全体	2,799	1,775	1,080	660	413	237	123	79	79	7,245	69.0



図Ⅲ－１２ 区域別太さ別樹木の構成比率

(2) 巨木

太さ順で胸高直径 150cm 以上の巨木の一覧を表Ⅲ－11に示す。

本区に生育する直径 150cm 以上の巨木の本数は 29 本で、これらは主に公園、社寺、学校などに存在している。また、もっとも直径が大きい木はクスノキであり、直径 286cm であった。

これらの巨木は、「善光寺坂のムクノキ」など、ランドマークとして地域の文化や景観に大きく寄与する樹木や、小石川植物園にある「精子発見のイチヨウ」のように学術的に価値の高い樹木も多く含まれている。

表Ⅲ－11 太さ 150cm 以上の樹木

順位	樹種名	胸高直径 (cm)	区分	区域
1	クスノキ	286	民有施設	本郷南
2	クスノキ	201	公園	植物園
3	クスノキ	199	公園	植物園
4	クスノキ	185	公園	植物園
5	イチヨウ	185	学校	大塚南
6	クスノキ	185	公園	本駒込西
7	モミジバスズカケノキ	183	公園	植物園
8	クスノキ	180	公園	本駒込西
9	クスノキ	171	公園	六義園
10	クスノキ	170	公園	六義園
11	クスノキ	170	公共施設	豊島岡墓地
12	ムクノキ	170	公共施設	小石川南
12	イチヨウ	167	社寺	根津
14	ケヤキ	166	社寺	目白台
14	イチヨウ	161	社寺	目白台
16	イチヨウ	161	学校	東大本郷
17	クスノキ	160	公園	植物園
18	イチヨウ	160	学校	弥生
19	ユリノキ	157	公園	植物園
20	ムクノキ	157	公園	千石
20	ケヤキ	155	公園	後樂園
22	クスノキ	154	公園	六義園
23	イチヨウ	154	社寺	大塚北
23	イチヨウ	153	公園	植物園
25	スダジイ	152	民有施設	関口
25	モミジバスズカケノキ	152	公園	植物園
27	クスノキ	151	公園	本駒込西
28	コーカサスサワグルミ	150	公園	植物園
29	イチヨウ	150	公園	大塚南

1-4. 樹種の特徴

(1) 樹種別の樹木本数

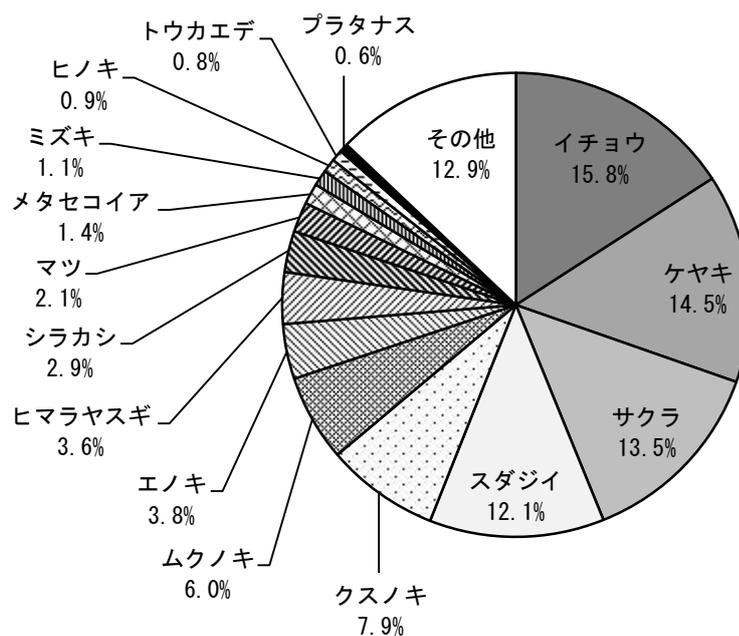
樹種別の樹木本数の構成を表Ⅲ-12に、その比率を図Ⅲ-13に示す。

○ 多い樹種：イチョウ、ケヤキ、サクラ、スダジイ

本区の樹木は樹種別ではイチョウがもっとも多く、1,148本であった。また、イチョウ、ケヤキ、サクラ、スダジイの上位4種が、本区の樹木本数の半数以上（56%）を占め、上位10種が本区の樹木の約8割を占めている。

表Ⅲ-12 樹種別樹木本数

順位	樹種名	本数	順位	樹種名	本数
1	イチョウ	1,148	11	メタセコイア	105
2	ケヤキ	1,053	12	ミズキ	80
3	サクラ	978	13	ヒノキ	68
4	スダジイ	877	14	トウカエデ	59
5	クスノキ	569	15	プラタナス	45
6	ムクノキ	435	-	その他	931
7	エノキ	277			
8	ヒマラヤスギ	262			
9	シラカシ	207			
10	マツ	151			
				合計	7,245



図Ⅲ-13 樹種別樹木本数構成比率

(2) 都市構造区分別樹種の特徴

本区の樹木本数上位 10 種の樹木について、都市構造区分別の本数を表Ⅲ－13 に示す。

公園緑地・河川以外では上位 10 種の樹木数が 80%以上を占めているが、公園緑地で 80%を超えるのは上位 16 種となり、比較的多様な樹種で構成されている。

前回調査時から交通施設内のイチョウが 78 本増と顕著な変化が見られ、これは街路樹が大きく成長したことが要因と考えられる。直径が 40cm 台の樹木も多く、今後も更なる増加が見込まれ、緑視率が向上し、景観の向上が期待できる。

表Ⅲ－13 都市構造区分別樹種別樹木本数

(単位：本)

都市構造区分	樹 種											合計
	イチョウ	ケヤキ	サウ	スダジイ	クスノキ	ムクノキ	エノキ	ヒマラヤスギ	シラカシ	マツ	その他	
低層建築群	41	57	77	74	36	18	18	5	18	20	53	417
高層建築群	106	54	63	48	58	15	9	11	2	1	27	394
工場用地	0	0	5	0	0	1	0	0	0	0	1	7
社寺用地	204	125	182	205	63	94	36	28	74	59	186	1,256
個人庭園	6	10	9	40	3	7	8	2	9	1	23	118
学校用地	410	320	256	174	138	98	108	192	34	15	305	2,050
公園緑地	102	450	330	277	230	188	90	22	60	55	657	2,461
交通施設	274	12	39	0	16	1	0	1	0	0	7	350
河川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
その他	5	25	17	59	25	13	8	1	10	0	28	191
区全体	1,148	1,053	978	877	569	435	277	262	207	151	1,288	7,245

(3) 用途地域別樹種の特徴

本区の樹木本数上位 10 種の樹木について、用途地域別の本数を表Ⅲ－14 に示す。

第1種低層住居専用地域・第2種中高層住居専用地域以外では上位 10 種の樹木数が 80%以上を占めているが、第1種低層住居専用地域で 80%を超えるのは上位 18 種となり、比較的多様な樹種で構成されている。

商業地域内の樹木が前回調査時より約 11%増加と目立った変化があり、イチョウの 28 本増と主要因となっている。

表Ⅲ－14 用途地域別樹種別樹木本数

(単位：本)

用途地域	樹 種											合計
	イチョウ	ケヤキ	サウ	スダジイ	クスノキ	ムクノキ	エノキ	ヒマラヤスギ	シラカシ	マツ	その他	
第1種低層住居専用地域	78	216	272	211	134	116	78	21	55	52	547	1,780
第1種中高層住居専用地域	512	492	399	385	247	144	137	206	91	65	507	3,185
第2種中高層住居専用地域	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
第1種住居地域	110	175	132	147	84	136	46	18	26	15	123	1,012
第2種住居地域	126	54	74	72	50	21	10	4	22	17	60	510
近隣商業地域	116	30	28	28	15	4	1	8	11	2	22	265
商業地域	160	72	31	29	37	10	3	4	2	0	24	372
準工業地域	46	14	42	4	2	4	2	1	0	0	4	119
区全体	1,148	1,053	978	877	569	435	277	262	207	151	1,288	7,245

(4) 区域別樹種の特徴

区域別の樹種構成と比率を表Ⅲ－１５、図Ⅲ－１５～１８に示す。

一般区域では、ほとんどの区域で上位 10 種の樹木数が 80%以上を占めており、樹種の多様性は低い。

一方で特別区域では六義園、豊島岡墓地が同 70%台となっており、植物園においては 52%となり多様性は豊かである。

表Ⅲ－１５ 区域別樹種別樹木本数

(単位：本)

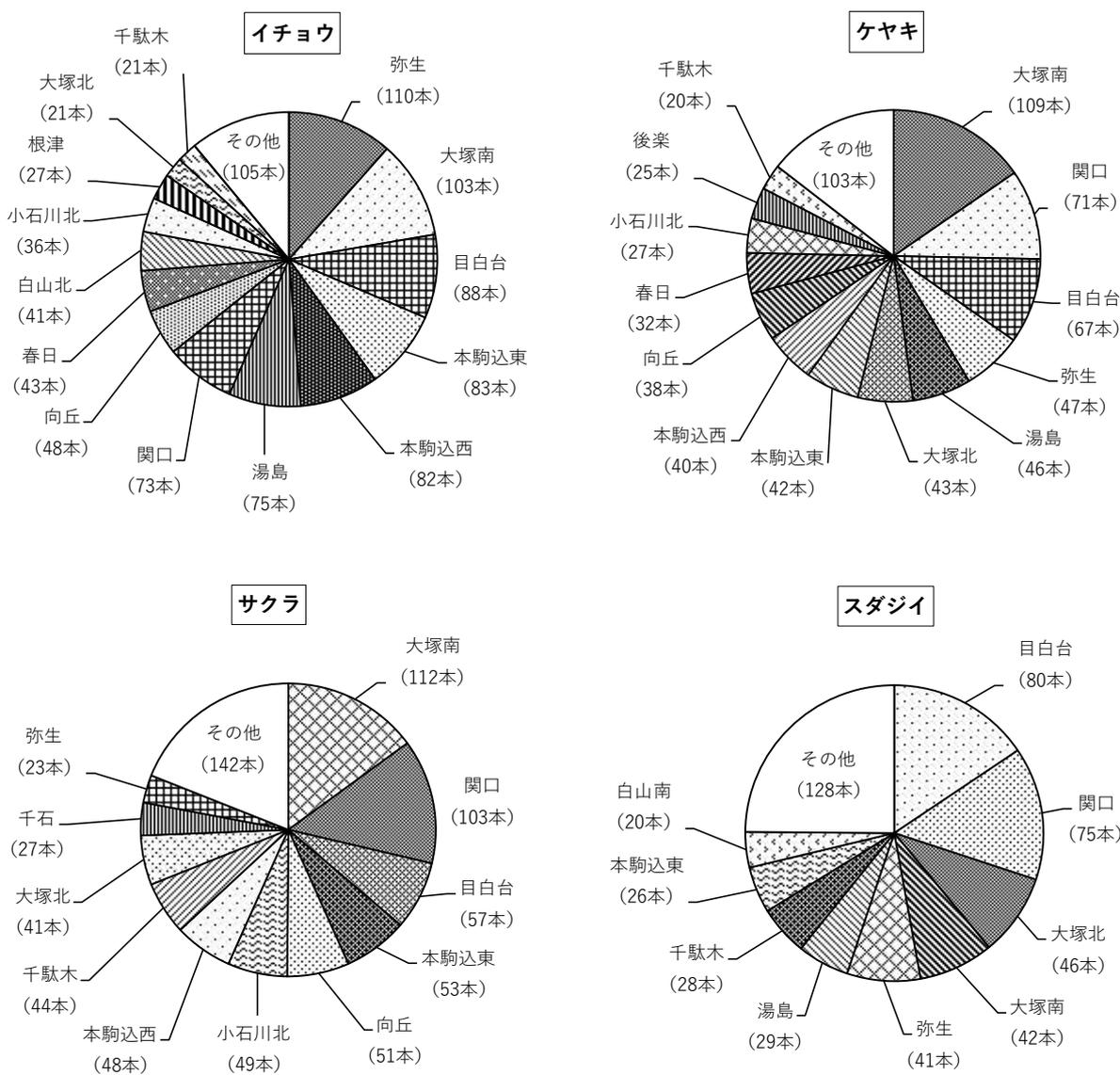
区域 番号	区域	樹 種											合計
		イチヨウ	ケヤキ	サクラ	スダジイ	クスノキ	ムクノキ	エノキ	ヒマラヤスギ	シラカシ	マツ	その他	
1	後楽	7	25	1	0	20	0	2	2	0	0	5	62
2	春日	43	32	18	18	20	15	10	9	0	1	18	184
3	小石川南	18	2	18	13	4	9	4	3	2	0	11	84
4	小石川北	36	27	49	13	23	7	0	3	4	0	13	175
5	白山南	18	10	17	20	1	9	5	8	2	0	9	99
6	白山北	41	18	12	5	6	12	2	1	0	0	5	102
7	千石	15	18	27	10	6	5	6	6	4	0	9	106
8	水道	0	2	2	0	2	0	0	0	0	0	1	7
9	小日向	13	8	17	5	3	10	10	6	4	4	11	91
10	大塚南	103	109	112	42	62	10	28	78	15	6	130	695
11	大塚北	21	43	41	46	9	3	3	11	9	12	40	238
12	関口	73	71	103	75	56	20	15	4	27	16	61	521
13	目白台	88	67	57	80	12	60	28	7	26	14	77	516
14	音羽	2	5	8	4	1	0	4	1	0	0	9	34
15	本郷南	11	15	10	7	4	2	0	2	0	0	8	59
16	本郷北	10	7	12	4	2	1	2	2	0	0	3	43
17	湯島	75	46	10	29	15	8	4	7	0	6	28	228
18	西片	11	1	13	16	4	4	3	0	0	0	6	58
19	向丘	48	38	51	14	7	9	3	5	2	0	7	184
20	弥生	110	47	23	41	10	13	29	11	0	1	61	346
21	根津	27	17	4	9	16	8	3	6	0	2	10	102
22	千駄木	21	20	44	28	17	12	9	7	2	1	13	174
23	本駒込東	83	42	53	26	12	6	7	6	2	0	30	267
24	本駒込西	82	40	48	10	31	2	1	10	0	0	10	234
一般区域小計		956	710	750	515	343	225	178	195	99	63	575	4,609
25	東大本郷	139	167	38	68	96	38	31	59	15	7	84	742
26	六義園	13	77	11	85	51	29	18	0	8	17	121	430
27	後楽園	11	56	14	69	44	85	15	0	6	6	66	372
28	植物園	27	32	147	34	16	25	24	6	28	23	339	701
29	豊島岡墓地	2	11	18	106	19	33	11	2	51	35	103	391
特別区域小計		192	343	228	362	226	210	99	67	108	88	713	2,636
区全体		1,148	1,053	978	877	569	435	277	262	207	151	1,288	7,245

(単位：本)

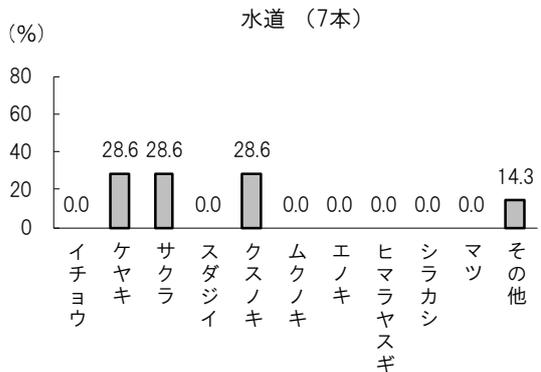
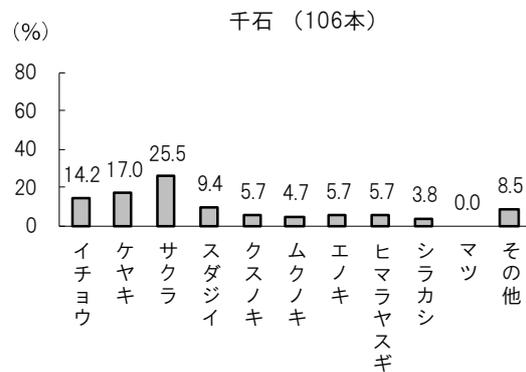
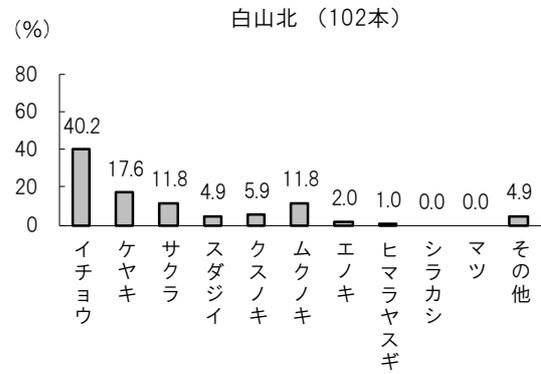
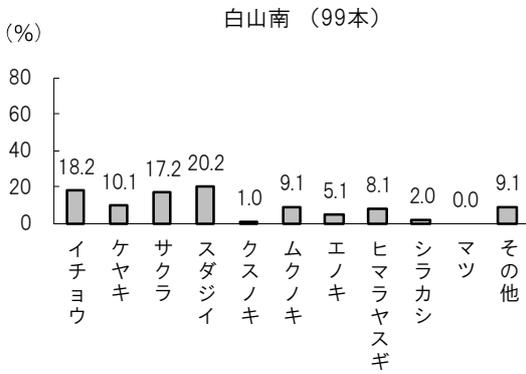
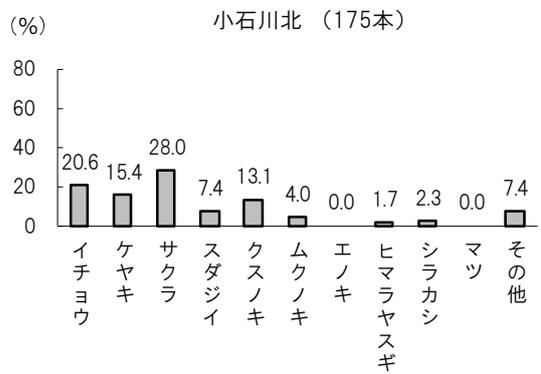
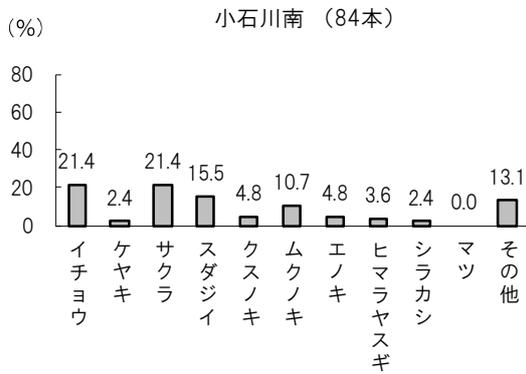
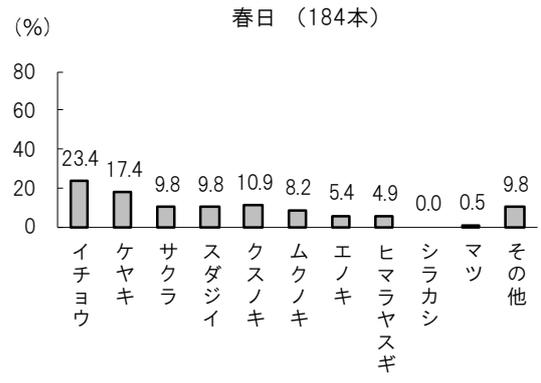
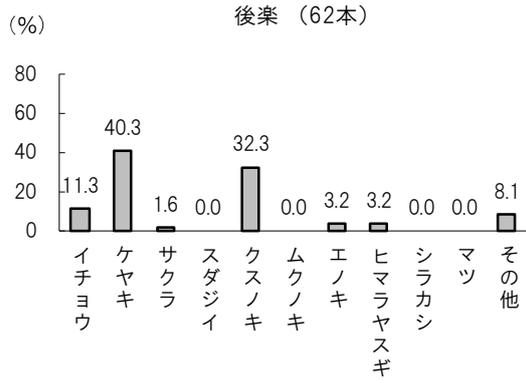
本区の樹木本数の多い上位4種（イチョウ、ケヤキ、サクラ、スダジイ）に着目し、一般区域における樹種別の区域構成を図Ⅲ-14に示す。

一般区域の区域別上位4位に分類すると、以下に示すような結果となる。一方、特別区域は、一般区域と比較すると多様な樹種構成となっている。

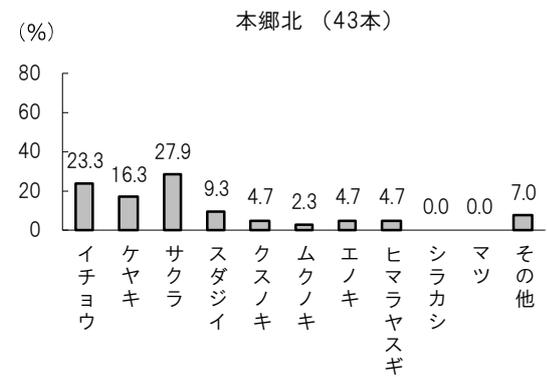
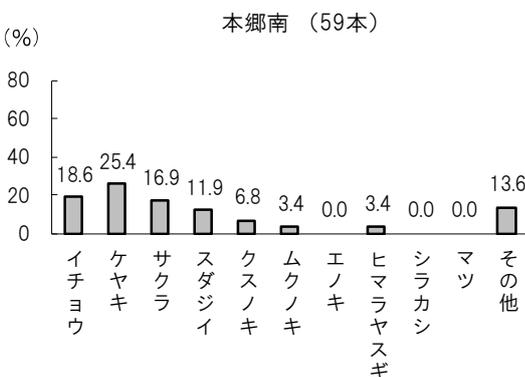
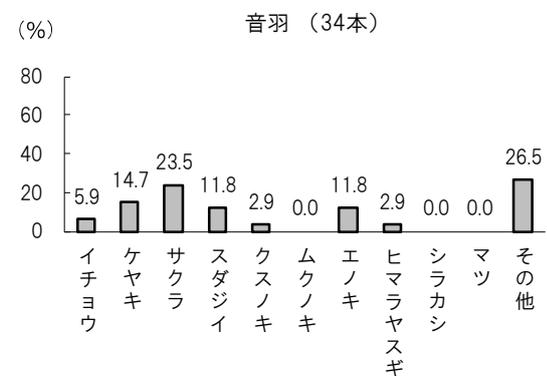
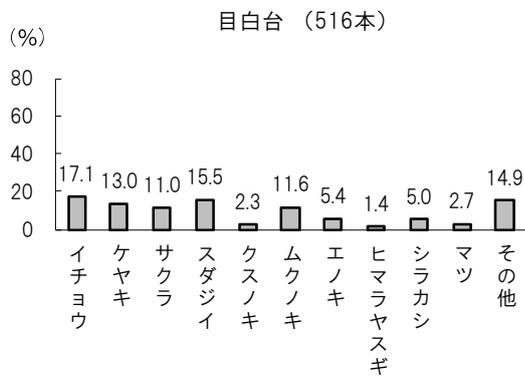
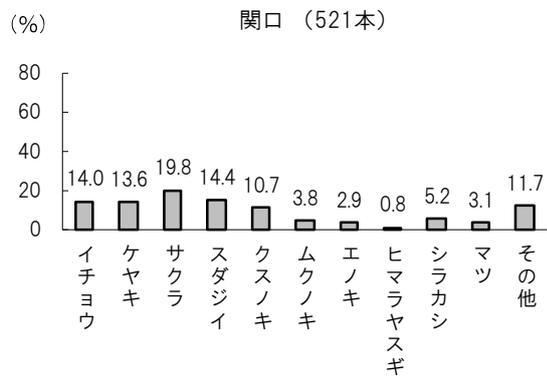
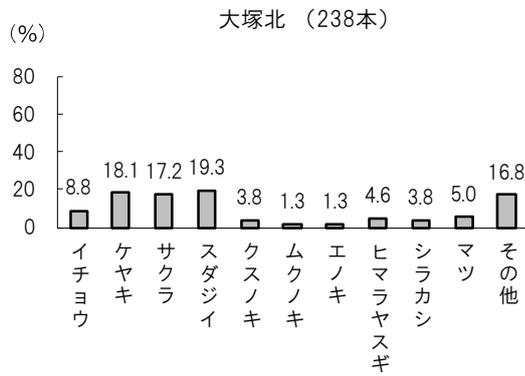
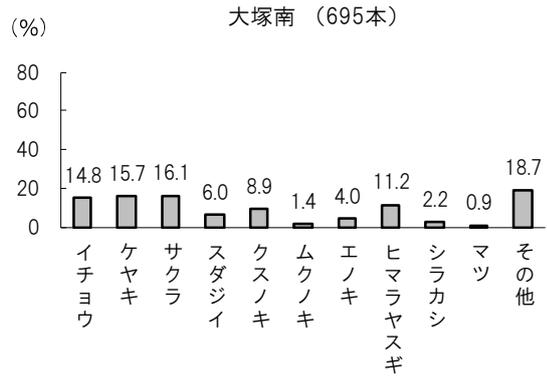
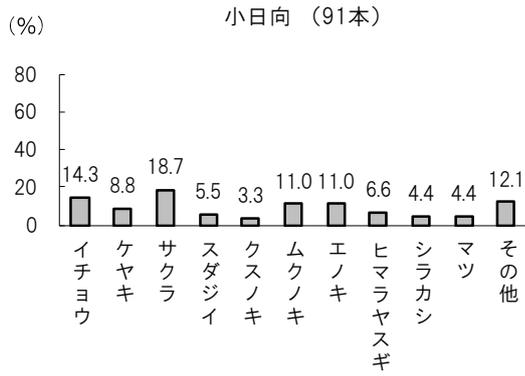
- イチョウが多い区域 : 弥生、大塚南、目白台、本駒込東、
- ケヤキが多い区域 : 大塚南、関口、目白台、弥生
- サクラが多い区域 : 大塚南、関口、目白台、本駒込東
- スダジイが多い区域 : 目白台、関口、大塚北、大塚南
- 多様な樹種構成の区域 : 特別区域



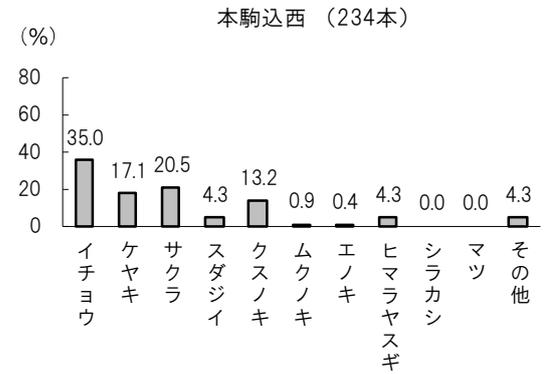
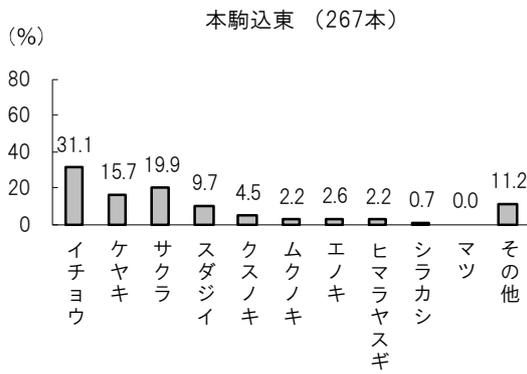
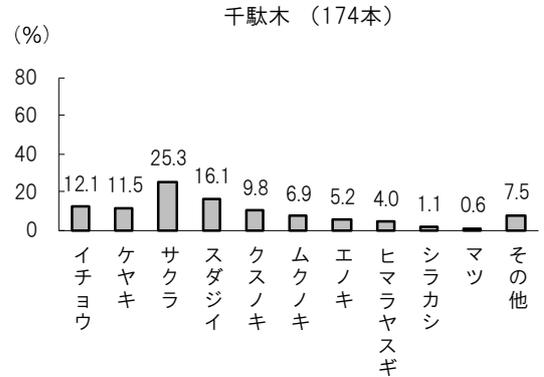
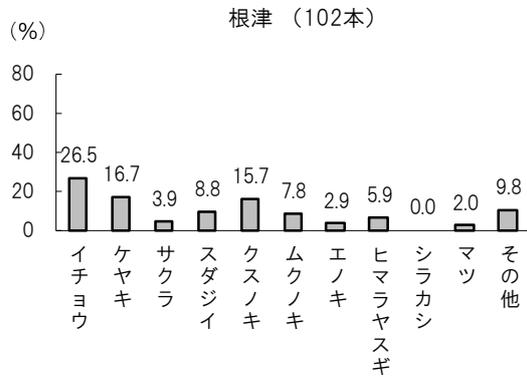
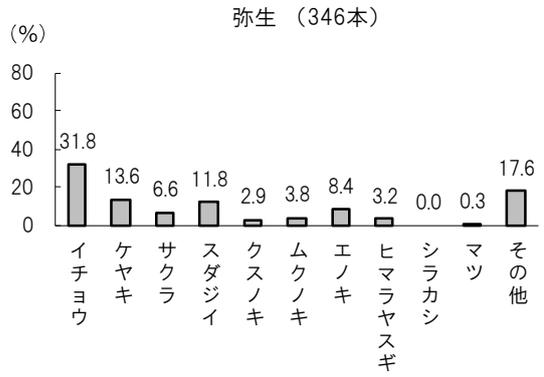
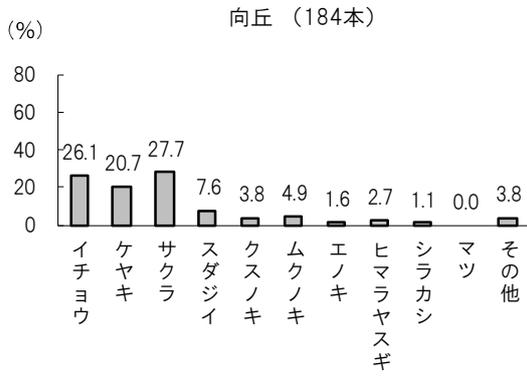
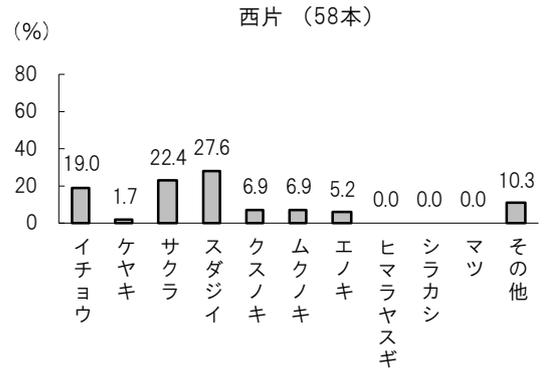
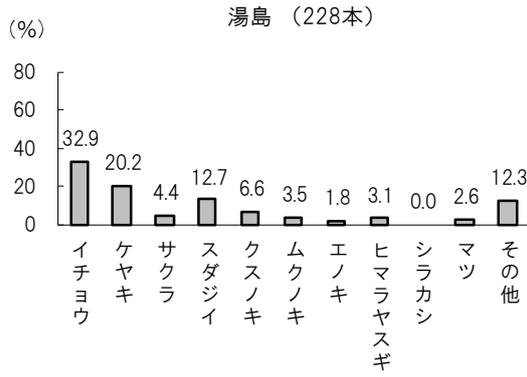
図Ⅲ-14 一般区域の区域別樹種の特徴



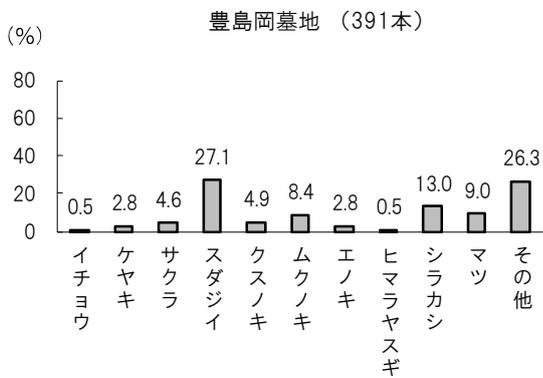
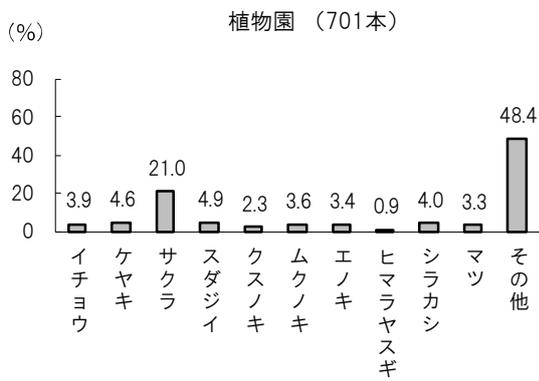
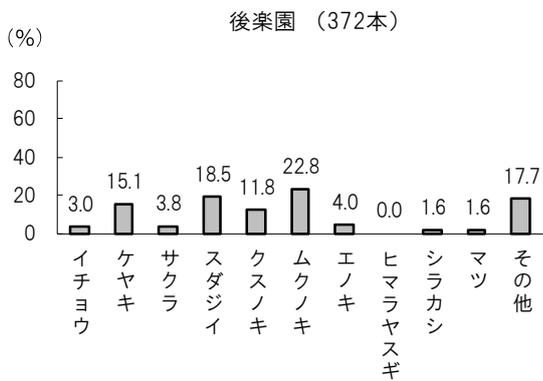
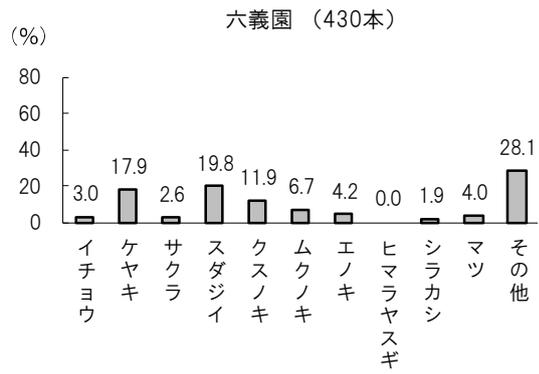
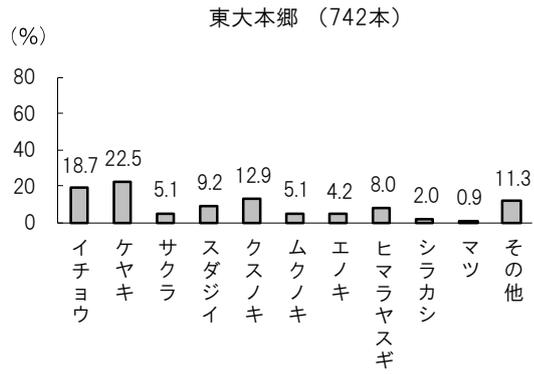
図Ⅲ-15 区域別樹種別樹木本数構成比 (1/4)



図Ⅲ-16 区域別樹種別樹木本数構成比 (2/4)



図Ⅲ-17 区域別樹種別樹木本数構成比 (3/4)



図Ⅲ－18 区域別樹種別樹木本数構成比 (4/4)

1-5. 樹木の経年変化

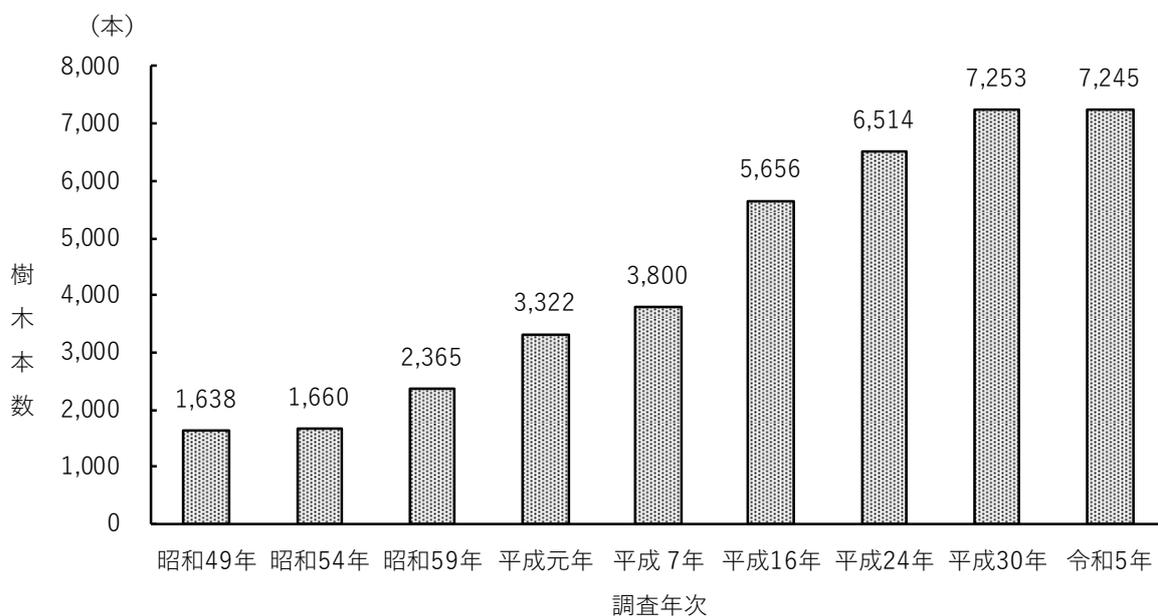
(1) 樹木本数の変化

過去8回の調査において、胸高直径50cm以上の樹木を対象に今回の調査の樹木本数と比較し、表Ⅲ-16および図Ⅲ-19に示す。

過去8回の調査では、樹木本数はいずれも増加もしくはほぼ横ばいで推移しており、今回の調査は前回（平成30年）から8本減少と横ばいの結果となった。

表Ⅲ-16 樹木本数の経年変化

調査年	樹木総数(本)
昭和49年	1,638
昭和54年	1,660
昭和59年	2,365
平成元年	3,322
平成7年	3,800
平成16年	5,656
平成24年	6,514
平成30年	7,253
令和5年	7,245



図Ⅲ-19 樹木本数の経年変化

前回と今回の調査における区域別樹木本数の変化を表Ⅲ－１７、図Ⅲ－２０に示す。

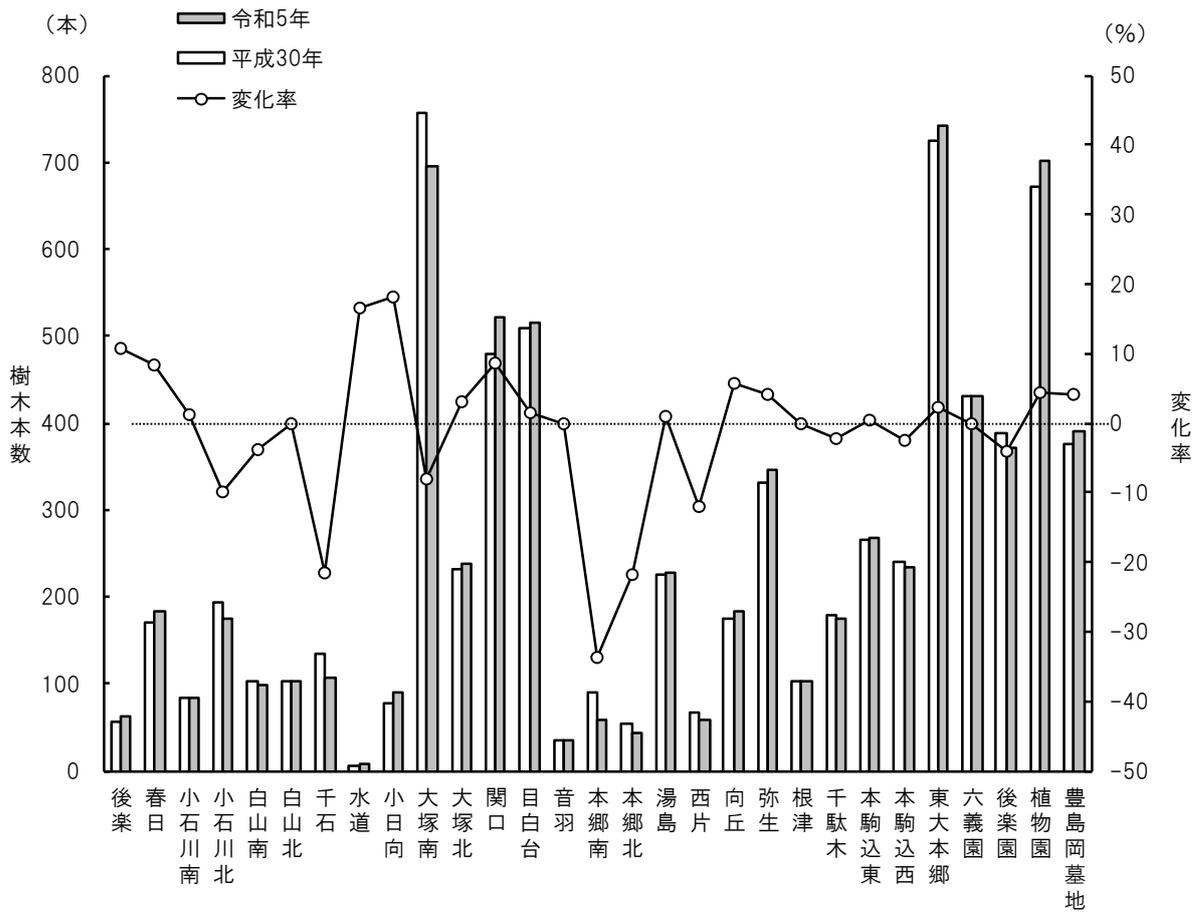
区域別では、関口での増加が41本と最も多く約半数の地区で増加している。

一方で30本を超える減少となった地区については、公園や学校施設などの改修が影響している。

- 増加している区域： 関口、小日向、春日、弥生
- 減少している区域： 大塚南、本郷南、千石、小石川北

表Ⅲ－１７ 区域別樹木本数の経年変化

区域 番号	区域	平成30年 (本)	令和5年 (本)	増減値 (本)	変化率 (%)
1	後楽	56	62	6	10.7
2	春日	170	184	14	8.2
3	小石川南	83	84	1	1.2
4	小石川北	194	175	-19	-9.8
5	白山南	103	99	-4	-3.9
6	白山北	102	102	0	0.0
7	千石	135	106	-29	-21.5
8	水道	6	7	1	16.7
9	小日向	77	91	14	18.2
10	大塚南	756	695	-61	-8.1
11	大塚北	231	238	7	3.0
12	関口	480	521	41	8.5
13	目白台	508	516	8	1.6
14	音羽	34	34	0	0.0
15	本郷南	89	59	-30	-33.7
16	本郷北	55	43	-12	-21.8
17	湯島	226	228	2	0.9
18	西片	66	58	-8	-12.1
19	向丘	174	184	10	5.7
20	弥生	332	346	14	4.2
21	根津	102	102	0	0.0
22	千駄木	178	174	-4	-2.2
23	本駒込東	266	267	1	0.4
24	本駒込西	240	234	-6	-2.5
25	東大本郷	725	742	17	2.3
26	六義園	430	430	0	0.0
27	後楽園	388	372	-16	-4.1
28	植物園	671	701	30	4.5
29	豊島岡墓地	376	391	15	4.0
区全体		7,253	7,245	-8	-0.1



図Ⅲ－２０ 区域別樹木本数の経年変化

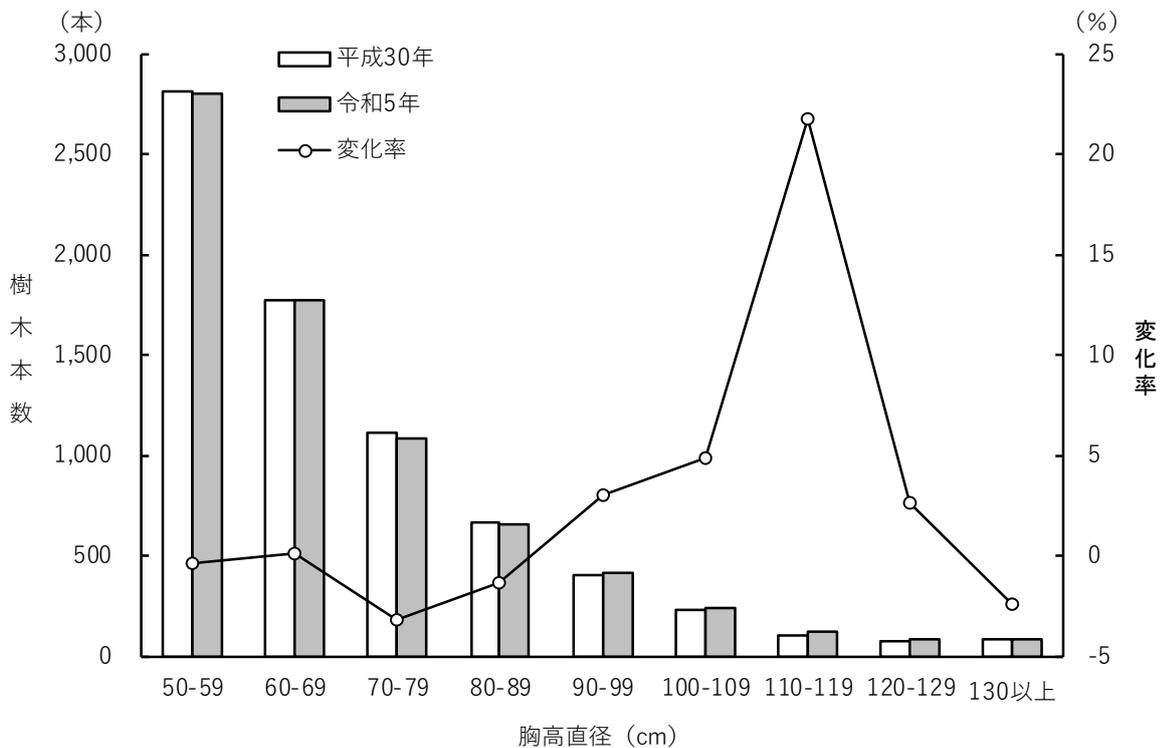
(2) 太さ別の樹木本数の変化

前回調査と比較するため、胸高直径 50cm 以上の樹木における太さ別の樹木本数の増減を表Ⅲ－18および図Ⅲ－21に示す。

大きな施設改修などの影響もあり合計本数こそ横ばいであったが、大きな樹径となるにつれ伐採等の影響をあまり受けずに経年変化による成長分が加算されている。

表Ⅲ－18 太さ別樹木本数の経年変化

胸高直径(cm)	平成30年 (本)	令和5年 (本)	増減 (本)	変化率 (%)
50-59	2,809	2,799	-10	-0.4
60-69	1,773	1,775	2	0.1
70-79	1,116	1,080	-36	-3.2
80-89	669	660	-9	-1.3
90-99	401	413	12	3.0
100-109	226	237	11	4.9
110-119	101	123	22	21.8
120-129	77	79	2	2.6
130以上	81	79	-2	-2.5
合計	7,253	7,245	-8	-0.1



図Ⅲ－21 太さ別樹木本数の経年変化

(3) 樹種別の樹木本数の変化

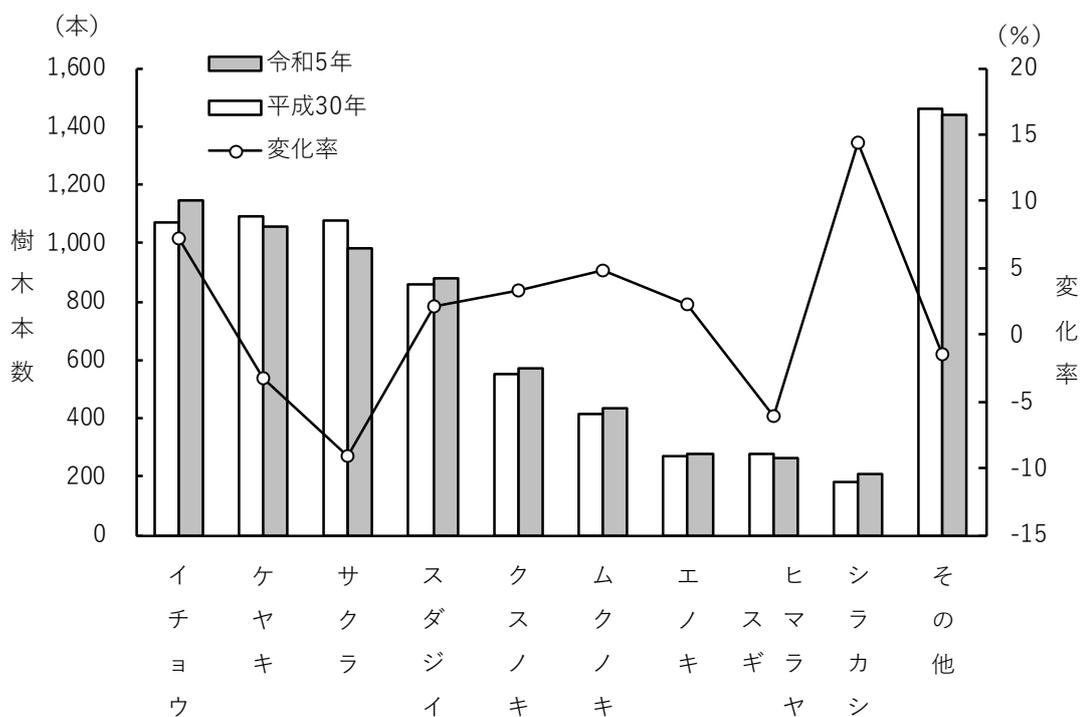
前回調査と比較するため、胸高直径 50cm 以上の樹木において樹種別樹木本数上位の樹種ついでの変動状況を表Ⅲ－19および図Ⅲ－22に示す。

交通施設に多く分布しているイチョウの増加が目立っており、緑視率への好影響が期待される。

また、分布が比較的似ているサクラとケヤキだが、サクラの減少が特に目立っており、施設改修などの影響のほか、老木化した樹木の植替えが進められていると考えられる。

表Ⅲ－19 樹種別樹木本数の経年変化

樹種	平成30年 (本)	令和5年 (本)	増減値 (本)	変化率 (%)
イチョウ	1,071	1,148	77	7.2
ケヤキ	1,089	1,053	-36	-3.3
サクラ	1,076	978	-98	-9.1
スダジイ	859	877	18	2.1
クスノキ	551	569	18	3.3
ムクノキ	415	435	20	4.8
エノキ	271	277	6	2.2
ヒマラヤスギ	279	262	-17	-6.1
シラカシ	181	207	26	14.4
その他	1,461	1,439	-22	-1.5
計	7,253	7,245	-8	-0.1



図Ⅲ－22 樹種別樹木本数の経年変化

2. 保護樹木の状況

2-1. 保護樹木の健康度

(1) 主要樹種の健康度

保護樹木の健康度を次の評価（表Ⅲ-20）で算出する。

表Ⅲ-20 健康度の評価基準

調査項目	1. 良好、正常 (1点)	2. 普通、正常に近い (2点)	3. 悪化が進んでいる (3点)	4. 顕著に悪化している (4点)
樹勢	生育旺盛	多少影響あるが あまり目立たない程度	異常が一目でわかる程度	生育劣弱で回復見込みないとみられるもの
樹形	自然樹形を保つもの	一部幾分の乱れがあるが、 自然樹形に近いもの	自然樹形の崩壊が かなり進んだもの	自然樹形が全く崩壊し、 奇形化しているもの
枝葉密度	枝および葉の密度の バランスがとれている	1に比べやや劣る	やや疎	枯枝が多く、 葉の発生が少ない 密度が著しく疎
葉色	正常	やや異常	かなり異常	著しく異常

○ 健康度の算出方法

$$\text{健康度} = \frac{\text{樹勢の点数} + \text{樹形の点数} + \text{枝葉密度の点数} + \text{葉色の点数}}{4}$$

令和5年8月1日現在で文京区が指定している保護樹木は690本あり、現地確認調査をおこなった結果、不存在だった樹木13本を除く677本の樹木について確認できた。

調査対象となった保護樹木の健康度の評価基準別内訳を表Ⅲ-21に示す。樹勢と葉色は半数以上が良好で枝葉密度では概ね正常であるが、樹形にいたっては正常からやや悪化も多いことがうかがえる。これは剪定作業等の影響で評価が低くなる傾向とも読み取れる。

ただ、顕著に悪化していると評価される樹木もあり、単木単位での特別な対処も必要と考えられる。

表Ⅲ-21 健康度の評価基準別内訳

調査項目	1. 良好、正常	2. 普通、正常に近い	3. 悪化が進んでいる	4. 顕著に悪化している
樹勢	353本	276本	46本	2本
樹形	166本	447本	62本	2本
枝葉密度	306本	334本	35本	2本
葉色	462本	206本	8本	1本

保護樹木の主な樹種別の健康度の評価について、樹種別の健康度および内訳を表Ⅲ－２、２３、２４および図Ⅲ－２３に示す。

表Ⅲ－２２ 樹種別の健康度

樹種	調査本数	健康度
		677本
イチョウ	206本	1.68
ケヤキ	111本	1.66
スダジイ	101本	1.54
サクラ	62本	1.52
クスノキ	45本	1.36
ムクノキ	43本	1.44
ヒマラヤスギ	18本	1.54
その他	91本	1.56

注：1.00に近い数値ほど健康度が高く、数値が高いほど健康度は低い。

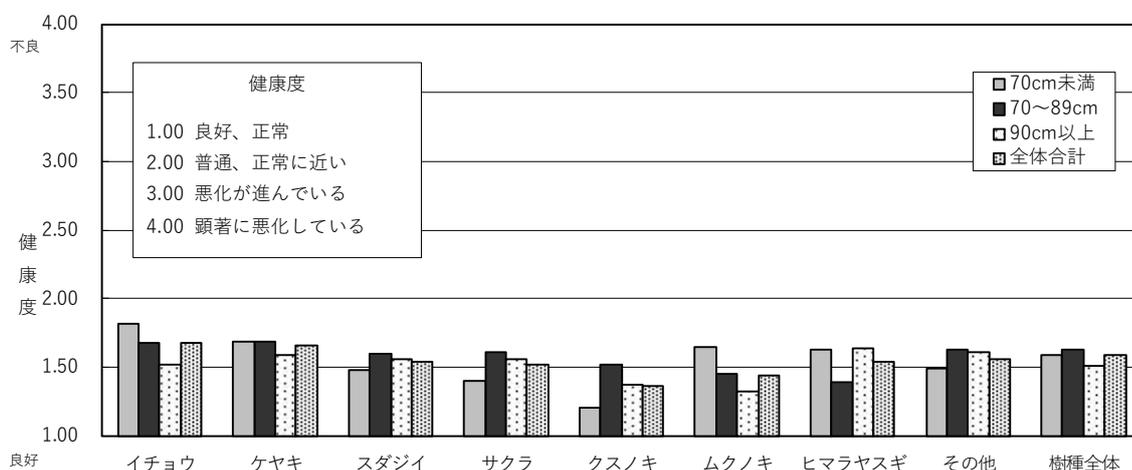
樹種としてはイチョウ、ケヤキ、スダジイが全体の半分以上を占めており、胸高直径50cm以上の樹木と概ね似た構成となっている。

全体平均の健康度は1.59で、全体的に良好であり、健康度としては特に問題ないと判断され、樹種別の健康度においても大きな差異はみられない。

健康度の内訳をみると、イチョウの直径50～70cm未満の健康度がもっとも低いが、直径90cm以上は全体平均の健康度を上回っている。

表Ⅲ－２３ 樹種別健康度の内訳

樹種	直径	本数	平均健康度
イチョウ	50～69cm	66	1.81
	70～89cm	89	1.68
	90cm以上	51	1.52
	合計	206	1.68
ケヤキ	50～69cm	36	1.69
	70～89cm	46	1.69
	90cm以上	29	1.59
	合計	111	1.66
スダジイ	50～69cm	43	1.48
	70～89cm	46	1.60
	90cm以上	12	1.56
	合計	101	1.54
サクラ	50～69cm	26	1.40
	70～89cm	28	1.61
	90cm以上	8	1.56
	合計	62	1.52
クスノキ	50～69cm	14	1.20
	70～89cm	12	1.52
	90cm以上	19	1.37
	合計	45	1.36
ムクノキ	50～69cm	10	1.65
	70～89cm	14	1.45
	90cm以上	19	1.32
	合計	43	1.44
ヒマラヤスギ	50～69cm	4	1.63
	70～89cm	7	1.39
	90cm以上	7	1.64
	合計	18	1.54
その他	50～69cm	40	1.49
	70～89cm	30	1.63
	90cm以上	21	1.61
	合計	91	1.56
樹種全体	50～69cm	239	1.59
	70～89cm	272	1.63
	90cm以上	166	1.51
	合計	677	1.59



図Ⅲ－２３ 樹種別健康度

表Ⅲ－２４ 樹種別健康度の内訳（詳細）

樹種	直径	本数	平均健康度	健康度の内訳			
				1. 樹勢	2. 樹形	3. 枝葉密度	4. 葉色
イチヨウ	50～59cm	16	2.09	2.06	2.38	2.13	1.81
	60～69cm	50	1.72	1.74	1.98	1.76	1.40
	70～79cm	61	1.66	1.62	1.92	1.72	1.39
	80～89cm	28	1.71	1.68	1.93	1.82	1.39
	90cm以上	51	1.52	1.45	1.82	1.53	1.27
	合計	206	1.68	1.65	1.95	1.73	1.40
ケヤキ	50～59cm	11	1.57	1.55	1.91	1.73	1.09
	60～69cm	25	1.74	1.60	1.92	1.72	1.72
	70～79cm	24	1.80	1.75	2.00	1.88	1.58
	80～89cm	22	1.57	1.45	1.73	1.64	1.45
	90cm以上	29	1.59	1.41	1.72	1.76	1.48
	合計	111	1.66	1.55	1.85	1.75	1.51
スダジイ	50～59cm	14	1.34	1.29	1.71	1.21	1.14
	60～69cm	29	1.54	1.55	1.83	1.45	1.34
	70～79cm	31	1.63	1.61	1.90	1.65	1.35
	80～89cm	15	1.55	1.47	1.73	1.60	1.40
	90cm以上	12	1.56	1.67	1.92	1.50	1.17
	合計	101	1.54	1.53	1.83	1.50	1.31
サクラ	50～59cm	14	1.59	1.64	1.93	1.50	1.29
	60～69cm	12	1.19	1.00	1.75	1.00	1.00
	70～79cm	16	1.66	1.81	1.94	1.69	1.19
	80～89cm	12	1.54	1.42	1.92	1.75	1.08
	90cm以上	8	1.56	1.63	1.75	1.63	1.25
	合計	62	1.52	1.52	1.87	1.52	1.16
クスノキ	50～59cm	4	1.06	1.00	1.25	1.00	1.00
	60～69cm	10	1.25	1.20	1.70	1.10	1.00
	70～79cm	7	1.43	1.43	1.57	1.43	1.29
	80～89cm	5	1.65	2.00	1.80	1.60	1.20
	90cm以上	19	1.37	1.26	1.68	1.32	1.21
	合計	45	1.36	1.33	1.64	1.29	1.16
ムクノキ	50～59cm	2	1.38	1.50	1.50	1.50	1.00
	60～69cm	8	1.72	1.75	2.00	1.63	1.50
	70～79cm	10	1.45	1.50	1.70	1.50	1.10
	80～89cm	4	1.44	1.25	2.00	1.50	1.00
	90cm以上	19	1.32	1.21	1.58	1.37	1.11
	合計	43	1.44	1.40	1.72	1.47	1.16
ヒマラヤスギ	50～59cm	2	2.00	2.50	2.00	1.50	2.00
	60～69cm	2	1.25	1.50	1.50	1.00	1.00
	70～79cm	4	1.50	1.50	2.00	1.25	1.25
	80～89cm	3	1.25	1.33	1.67	1.00	1.00
	90cm以上	7	1.64	1.71	1.86	1.71	1.29
	合計	18	1.54	1.67	1.83	1.39	1.28
その他	50～59cm	16	1.41	1.31	1.63	1.44	1.25
	60～69cm	24	1.54	1.67	1.92	1.46	1.13
	70～79cm	17	1.54	1.53	1.71	1.59	1.35
	80～89cm	13	1.73	1.54	2.00	1.85	1.54
	90cm以上	21	1.61	1.57	1.86	1.71	1.29
	合計	91	1.56	1.54	1.82	1.59	1.29
樹種全体	50～59cm	79	1.59	1.57	1.87	1.57	1.33
	60～69cm	160	1.59	1.58	1.89	1.54	1.34
	70～79cm	170	1.64	1.63	1.88	1.68	1.36
	80～89cm	102	1.61	1.54	1.85	1.70	1.35
	90cm以上	166	1.51	1.45	1.77	1.56	1.28
	合計	677	1.59	1.55	1.85	1.61	1.33

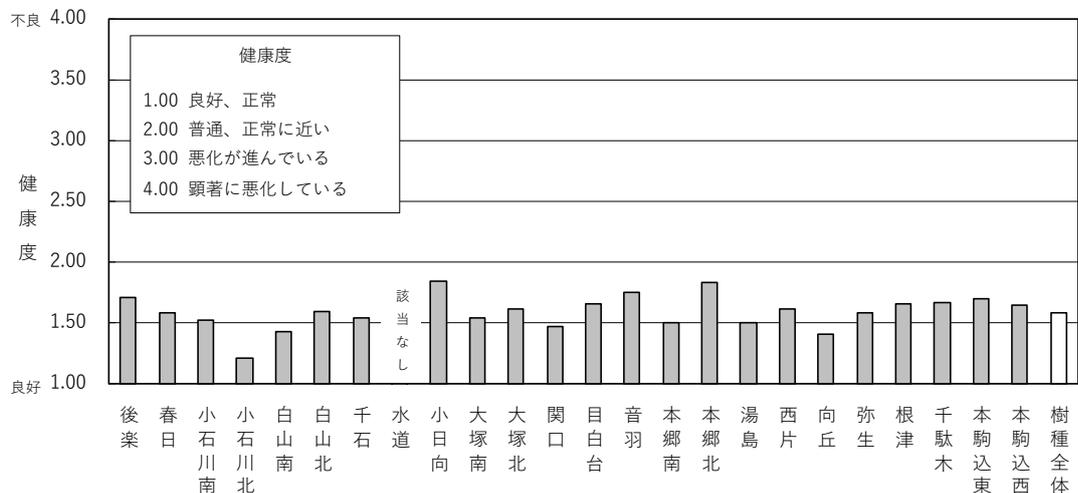
(2) 区域別健康度

区域別の樹木の健康度を表Ⅲ－２５、図Ⅲ－２４に示し、区域ごとの樹種別健康度を表Ⅲ－２６に示す。

区域別の健康度には特に傾向はみられず、地域的な影響は考えられないと判断される。評価項目別にみても突出して悪い評価の区域はない。

表Ⅲ－２５ 区域別健康度

No.	区域	樹木本数	直径(cm)	樹勢	樹形	枝葉密度	葉色	樹種全体
1	後楽	11	70.9	1.82	1.82	1.73	1.45	1.70
2	春日	12	79.5	1.58	1.75	1.58	1.42	1.58
3	小石川南	33	71.1	1.64	1.67	1.52	1.27	1.52
4	小石川北	16	77.4	1.19	1.50	1.13	1.00	1.20
5	白山南	7	80.9	1.29	1.71	1.43	1.29	1.43
6	白山北	19	80.1	1.58	1.95	1.53	1.32	1.59
7	千石	14	72.1	1.50	1.86	1.50	1.29	1.54
8	水道	0	—	—	—	—	—	—
9	小日向	13	75.0	1.85	2.31	1.92	1.31	1.85
10	大塚南	18	65.6	1.61	1.89	1.44	1.22	1.54
11	大塚北	31	78.3	1.48	1.87	1.81	1.29	1.61
12	関口	78	79.4	1.46	1.65	1.45	1.31	1.47
13	目白台	117	81.7	1.56	1.90	1.74	1.39	1.65
14	音羽	1	63.0	2.00	2.00	2.00	1.00	1.75
15	本郷南	8	108.9	1.75	1.50	1.38	1.38	1.50
16	本郷北	13	81.6	1.77	2.15	1.85	1.54	1.83
17	湯島	10	82.5	1.30	1.70	1.80	1.20	1.50
18	西片	17	74.2	1.65	1.88	1.53	1.41	1.62
19	向丘	57	77.0	1.32	1.88	1.26	1.16	1.40
20	弥生	3	76.7	1.67	2.00	1.33	1.33	1.58
21	根津	47	85.9	1.60	1.89	1.72	1.40	1.65
22	千駄木	12	85.0	1.67	2.00	1.67	1.33	1.67
23	本駒込東	56	80.8	1.75	1.96	1.63	1.45	1.70
24	本駒込西	84	76.8	1.55	1.89	1.76	1.36	1.64
	樹種合計	677	79.0	1.55	1.85	1.61	1.33	1.59



図Ⅲ－２４ 区域別健康度

表Ⅲ－２６ 区域別樹種別健康度

No.	区域	樹種名	本数	平均健康度	No.	区域	樹種名	本数	平均健康度
1	後楽	イチョウ	4	2.06	13	目白台	イチョウ	16	1.75
		ケヤキ	5	1.55			ケヤキ	32	1.88
		スダジイ	0	-			スダジイ	20	1.53
		サクラ	0	-			サクラ	4	1.75
		クスノキ	1	1.25			クスノキ	2	1.63
		その他	1	1.50			その他	43	1.49
2	春日	イチョウ	1	2.00	14	音羽	イチョウ	0	-
		ケヤキ	1	1.75			ケヤキ	1	1.75
		スダジイ	4	1.44			スダジイ	0	-
		サクラ	1	1.75			サクラ	0	-
		クスノキ	1	1.25			クスノキ	0	-
		その他	4	1.63			その他	0	-
3	小石川南	イチョウ	10	1.43	15	本郷南	イチョウ	1	1.25
		ケヤキ	0	-			ケヤキ	1	1.25
		スダジイ	7	1.39			スダジイ	2	2.00
		サクラ	4	1.56			サクラ	1	1.50
		クスノキ	0	-			クスノキ	2	1.50
		その他	12	1.67			その他	1	1.00
4	小石川北	イチョウ	1	1.50	16	本郷北	イチョウ	6	1.75
		ケヤキ	0	-			ケヤキ	1	2.00
		スダジイ	0	-			スダジイ	0	-
		サクラ	0	-			サクラ	2	2.25
		クスノキ	15	1.18			クスノキ	2	1.88
		その他	0	-			その他	2	1.50
5	白山南	イチョウ	2	1.63	17	湯島	イチョウ	5	1.65
		ケヤキ	0	-			ケヤキ	1	1.25
		スダジイ	0	-			スダジイ	1	1.50
		サクラ	2	1.25			サクラ	0	-
		クスノキ	0	-			クスノキ	1	1.00
		その他	3	1.42			その他	2	1.50
6	白山北	イチョウ	6	1.71	18	西片	イチョウ	3	2.08
		ケヤキ	3	1.33			ケヤキ	0	-
		スダジイ	2	1.88			スダジイ	5	1.60
		サクラ	1	1.75			サクラ	3	2.08
		クスノキ	1	1.25			クスノキ	2	1.38
		その他	6	1.54			その他	4	1.06
7	千石	イチョウ	2	2.00	19	向丘	イチョウ	15	1.35
		ケヤキ	2	1.88			ケヤキ	9	1.33
		スダジイ	3	1.17			スダジイ	5	2.10
		サクラ	2	2.13			サクラ	20	1.33
		クスノキ	1	1.25			クスノキ	3	1.17
		その他	4	1.19			その他	5	1.45
8	水道	イチョウ	0	-	20	弥生	イチョウ	0	-
		ケヤキ	0	-			ケヤキ	0	-
		スダジイ	0	-			スダジイ	2	1.50
		サクラ	0	-			サクラ	0	-
		クスノキ	0	-			クスノキ	0	-
		その他	0	-			その他	1	1.75
9	小日向	イチョウ	6	2.33	21	根津	イチョウ	20	1.66
		ケヤキ	3	1.50			ケヤキ	8	1.59
		スダジイ	1	1.75			スダジイ	2	1.63
		サクラ	2	1.25			サクラ	0	-
		クスノキ	0	-			クスノキ	6	1.38
		その他	1	1.25			その他	11	1.84
10	大塚南	イチョウ	3	1.25	22	千駄木	イチョウ	4	1.81
		ケヤキ	3	2.08			ケヤキ	2	1.38
		スダジイ	6	1.33			スダジイ	4	1.50
		サクラ	1	1.75			サクラ	0	-
		クスノキ	0	-			クスノキ	0	-
		その他	5	1.60			その他	2	2.00
11	大塚北	イチョウ	7	1.61	23	本駒込東	イチョウ	30	1.86
		ケヤキ	8	1.53			ケヤキ	2	1.63
		スダジイ	5	1.65			スダジイ	14	1.43
		サクラ	2	1.88			サクラ	2	1.63
		クスノキ	1	1.00			クスノキ	1	2.00
		その他	8	1.69			その他	7	1.54
12	関口	イチョウ	9	1.19	24	本駒込西	イチョウ	55	1.68
		ケヤキ	25	1.64			ケヤキ	4	1.56
		スダジイ	17	1.59			スダジイ	1	1.50
		サクラ	5	1.05			サクラ	10	1.53
		クスノキ	2	1.63			クスノキ	4	1.63
		その他	20	1.36			その他	10	1.60

2-2. 健康度の経年変化

保護樹木における健康度の経年変化の状況を表Ⅲ-27、図Ⅲ-25に示す。

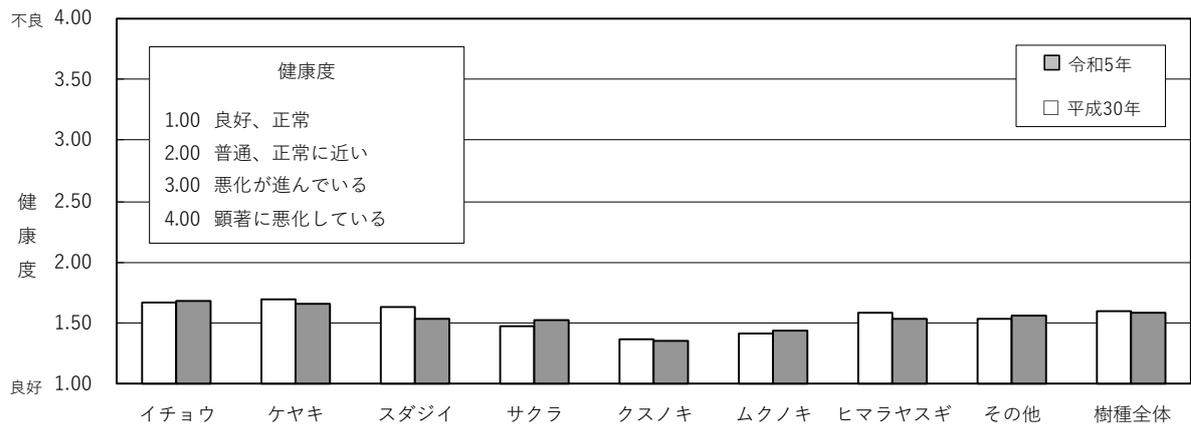
○令和5年度平均健康度 1.59 ○平成30年度平均健康度 1.62

全体的に健康度の経年変化をみると、やや良化しているが大きな変化はなかった。

樹種別に健康度の経年変化をみると、スダジイが良好へ転じている。また胸高直径50cm以上の樹木集計で減少が目立ったサクラ・ケヤキ・ヒマラヤスギについて、保護樹木においては特段の変化は見られない。

表Ⅲ-27 樹種別健康度の経年変化

樹種	直径	健康度		増減
		平成30年	令和5年	
イチョウ	50～69cm	1.78	1.81	-0.03
	70～89cm	1.74	1.68	0.06
	90cm以上	1.60	1.52	0.08
	合計	1.72	1.68	0.04
ケヤキ	50～69cm	1.74	1.69	0.05
	70～89cm	1.64	1.69	-0.05
	90cm以上	1.75	1.59	0.16
	合計	1.70	1.66	0.04
スダジイ	50～69cm	1.63	1.48	0.15
	70～89cm	1.67	1.60	0.07
	90cm以上	1.83	1.56	0.27
	合計	1.66	1.54	0.12
サクラ	50～69cm	1.44	1.40	0.04
	70～89cm	1.54	1.61	-0.07
	90cm以上	1.60	1.56	0.04
	合計	1.50	1.52	-0.02
クスノキ	50～69cm	1.28	1.20	0.08
	70～89cm	1.38	1.52	-0.14
	90cm以上	1.41	1.37	0.04
	合計	1.37	1.36	0.01
ムクノキ	50～69cm	1.36	1.65	-0.29
	70～89cm	1.50	1.45	0.05
	90cm以上	1.34	1.32	0.02
	合計	1.42	1.44	-0.02
ヒマラヤスギ	50～69cm	1.50	1.63	-0.13
	70～89cm	1.38	1.39	-0.01
	90cm以上	1.64	1.64	0.00
	合計	1.51	1.54	-0.03
その他	50～69cm	1.45	1.49	-0.04
	70～89cm	1.69	1.63	0.06
	90cm以上	1.47	1.61	-0.14
	合計	1.53	1.56	-0.03
樹種全体	50～69cm	1.61	1.59	0.02
	70～89cm	1.64	1.63	0.01
	90cm以上	1.58	1.51	0.07
	合計	1.62	1.59	0.03



図Ⅲ－２５ 樹種別健康度の経年変化

